

開発事業に伴う、給配水管布設工事の諸手続きについて

令和6年8月1日

※ 給水管のみ布設の場合は適用外。
位置指定道路については、
「6.位置指定道路に関する手続き」を参照。

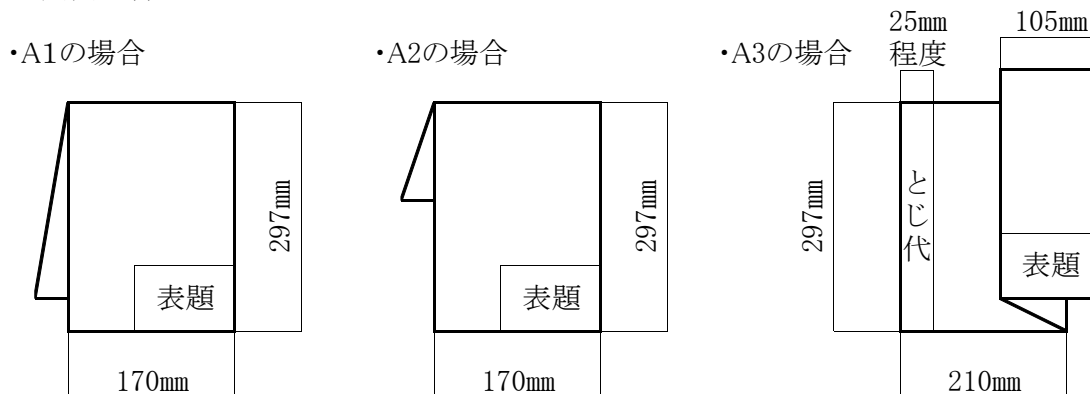
明石市水道局給水係 ☎:078-918-5067 / FAX:078-912-1110

1. 給水申込から竣工までの流れ

(1) 給水申込書 提出 申込者 ⇒ 水道局 ⑩以外は着工の1箇月前までに提出して下さい。
(申込者:明石市指定給水工事事業者 / 水道局:明石市水道局給水係)

	鑑及び添付書類	用紙の大きさ	部数
①	鑑(【開】様式第201号)	A4	1部
②	委任状(【開】様式第202号)	A4	1部
③	位置図(1:1000~1:5000程度)	A4	2部
④	付近見取図(1:500~1:1000程度) (位置図で場所が明確にわかる場合は、位置図のみで可。)	A4	2部
⑤	実施計画図(工程表、交通規制図、足場、矢板等計画図)	A4又はA3	2部
⑥	給配水管計画図(平面図 1:300、管割図、他企業管を表示した縦横断面図、埋め戻し断面図、その他必要に応じた関連図面)	A1,A2,A3のうち、左記が1枚に収まる大きさ。(A1版1枚で収まらない場合は分割可)	2部 ※1
⑦	⑥の縮小版(⑥がA3で収まる場合は不要)	A3	2部
⑧	緊急連絡体制表、現場体制表	A4	2部
⑨	給水装置工事主任技術者名簿(資格証の写し添付) ※ 4.配水管工事標準仕様書>(2)管布設工事>①配管工>⑦ 参照	A4	2部
⑩	配管工名簿(管種に応じた受講修了証の写し添付)	A4	2部
⑪	その他(以下の⑦~⑩参照、着工までに提出)		2部
	⑦ 各道路等占用許可申請書 ・市道、市管理道路、里道、水路敷、県道、国道(250号、和坂交差点より西の2号) → 申込者が直接、協議・申請して下さい。 申請書に水道局の経由印を押印しますので、必要部数を作成の上、原本を提示して下さい。なお、許可が下りた後、許可書の写しを提出(FAX可)して下さい。 ・国道(28号、175号、和坂交差点以東の2号、加古川バイパス、加古川バイパス側道、第二神明道路)、河川、港湾、他市町道等 → 申込者が協議を行って下さい。申請は各管理者の指示によりますが、水道局において行うよう指示があれば、必要部数+1部を水道局へ提出して下さい。許可が下りた後、許可書の写しをお渡しします。		
	⑧ 道路使用許可申請書 → 申込者が協議・申請して下さい。許可が下りた後、許可書の写しを提出(FAX可)して下さい。		
	⑩ 他企業(下水道、ガス、電気、電話等)への施工通知、その他各事業者への工事通知等。 → 申込者が通知・協議して下さい。協議完了後、回答書の写しを提出(FAX可)して下さい。		

※1 図面の折り方



(2) 承認通知書 発行

水道局 ⇒ 申込者

受取の署名が必要です。

(3) 工事監督依頼書 提出 申込者 ⇒ 水道局

	鑑及び添付書類	用紙の大きさ	部数
①	鑑(【開】様式第203号)	A4	1部
②	位置図(1:1000～1:5000程度)(給水申込書の③と同じ物)	A4	1部
③	付近見取図(1:500～1:1000程度)(給水申込書の④と同じ物) (位置図で場所が明確にわかる場合は、位置図のみで可。)	A4	1部
④	給配水管計画図(給水申込書の⑥と同じ物)		1部
⑤	使用材料承諾願等 明石市給水装置工事施行基準(給水申込書提出時点での基準)(以下、基準書という)に記載の材料を使用する場合は、④の給配水管計画図にメーカー名記載のみで可。(↓参照) http://www2.city.akashi.lg.jp/suidou/suidou/koji-jigyosha/sitekouji/r030401kyuususekoukijuun_2souchikouzou.pdf	A4	1部

(4) 監督費請求書 納入通知書兼領収書) 発行 水道局 ⇒ 申込者 受取の署名が必要です。

(5) 監督費等、市納金の納付 申込者

納期限:納付書発行日+15日(土日の場合は、次の月曜日)まで

(6) 監督費等領収書の写し 提出(任意) 申込者 ⇒ 水道局

入金確認が、金融機関から水道局へ到達するまで約10日間を要するため、下記**(8)**の着工前現場立会をお急ぎの場合は、提出して下さい。

(7) 着工前現場立会依頼 申込者 ⇒ 水道局 電話で可です。

上記**(5)**の、監督費等の納付が確認できてからの受付となります。工事着手の1週間前までに立会するように調整して下さい。

(8) 着工前現場立会

着工前に現場にて水道局と申込者が立ち会い、現地確認及び工程打合せ等を行います。

(9) 施工 (2.工事に際しての留意事項 参照)

着工の前日までに、上記**(1)**の書類をすべて水道局へ提出して下さい。提出が無い場合、工事着手は認めません。

施工中は原則、市監督員が立ち会います。

注1 給配水の計画・施工にあたっては、本書(開発事業に伴う給配水管布設工事の諸手続きについて)及び明石市給水装置工事施行基準(※2明石市水道局ホームページ参照)、各管種の協会の設計基準・配管要領、水道施設設計基準(日水協)、水道維持管理基準(日水協)等を参照すること
※2 http://www2.city.akashi.lg.jp/suidou/suidou/koji-jigyosha/sitekouji_sekoukijun.htm#sekoukijun

注2 道路等の掘削・埋戻し・復旧については、各道路等管理者の基準・指示に従うこと。

(10) 水張り、洗管依頼 申込者 ⇒ 水道局

現場にて市監督員と打合せをして下さい。

(11) 水張り、洗管実施 水道局

2.工事に際しての留意事項>(6)水張り及び洗管作業 参照。

(12) 水圧試験依頼 申込者 ⇒ 水道局

検査願等の書類提出は不要です。現場にて市監督員と打合せをして下さい。

(13) 水圧試験実施

市監督員立会で、新設配水管の水圧試験を実施します。

(14) 給水管布設工事施工

上記(13)の水圧試験合格後、サドル分水栓の穿孔を行うことができます。
 施工中は原則、市監督員が立ち会います。

(15) 工事写真及び竣工書類(下書き) 提出 申込者 ⇒ 水道局

①については写真帳に整理した物、②～⑥については、普通用紙による下書きを提出して下さい。押印は不要です。水道局にて修正等の有無を確認し、一旦返却します。

	提出書類	用紙の大きさ	部数	備考
①	工事写真 ㊦着工前 ㊧完成(舗装、区画線施工完了後) ㊨施工中 ・材料検収 ・配水管(※備考欄参照) 掘削 耐震型不断水割T字管 水圧試験 穿孔状況 密着コア取付 ポリスリーブ取付 明示テープ貼付け 配管状況 ポリスリーブ取付 明示シート布設 弁栓類取付 各ボックス類設置 消火栓蓋枠固定用 無収縮モルタル打設 埋戻し状況(各断面) 水圧試験 ・給水管(全箇所) 掘削 サドル付分水栓 水圧試験 穿孔状況 密着コア取付 ポリスリーブ取付 配管状況 明示テープ貼付け 明示シート布設 第一止水栓取付 第一止水栓筐設置 埋戻し状況(各断面) 明示ピン設置 止水栓筐内砂入れ	A4	1部	※配水管の写真撮影箇所について 一般部においては、40m～50mに1箇所の割合で撮影すること。 なお、管種・管径・埋戻し断面が異なる箇所があれば、それぞれの箇所にて40m～50mに1箇所の割合で撮影すること。
②	工事日報(記入例参照) (水道工事の着工から完了まで1箇月以上要する場合は、1箇月毎を目途に提出すること。)	A4	1部	配水管がφ50mm以下の場合には不要
③	竣工図(甲)＜配水管竣工図＞(記入例参照) (平面図 1:300、管割図、他企業管を表示した縦横断面図、埋め戻し断面図、弁栓類オフセット図、その他必要に応じた関連図面)	A3 (A3版1枚で収まらない場合は分割可)	1部	配水管がφ50mm以下の場合には不要
④	竣工図(乙)＜給水管竣工図＞(記入例参照)	A3	1部	
⑤	竣工図(丙)＜配水管竣工図＞(記入例参照) (平面図 1:300、管割図、他企業管を表示した縦横断面図、埋め戻し断面図、弁栓類オフセット図、その他必要に応じた関連図面)	A3	1部	配水管がφ75mm以上の場合には不要

修正箇所があれば、修正した書類(下書き)を再度提出して下さい。

(16) 竣工検査 依頼 申込者 ⇒ 水道局 電話で可です。

道路の舗装、消火栓の表示(黄線)の施工完了後に検査を実施します。
完了届、検査依頼等の書類提出は不要です。

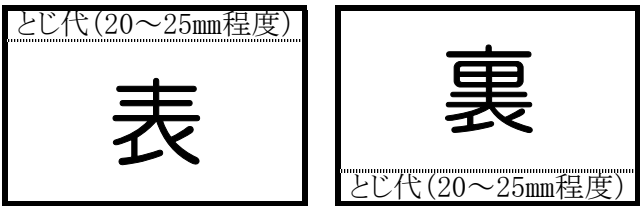
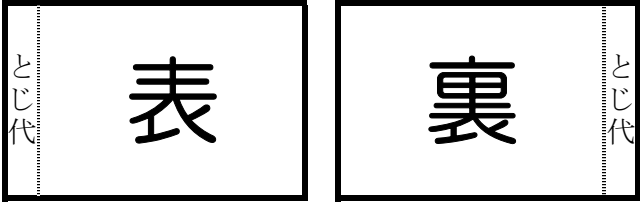
(17) 竣工検査 実施

巻き尺、止水栓、仕切弁、消火栓等の操作キー、マンホールキー等、必要な道具を持参して下さい。
検査済証等は発行しませんが、検査合格後、各宅地の給水装置工事申込が受付可能となります。(ただし、是正指示があった場合は、是正完了報告後になります。)

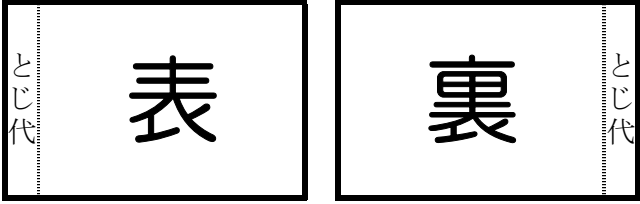
(18) 竣工書類(清書)及び是正報告書 提出 申込者 ⇒ 水道局

竣工検査完了後、竣工図書(清書)を提出して下さい。
竣工検査において、是正の指示があった場合、是正報告書(様式は任意)を提出して下さい。

・配水管がφ75mm以上の場合

	提出書類	用紙の大きさ、紙質	部数	備考
①	工事写真	A4	—	下書き用で提出済
②	工事日報(記入例参照) 印刷方法は下図のとおり。とじ代は、20~25mm程度。 	A4 110kg~135kg上質紙	1部	
③	竣工図(甲) <配水管竣工図> (記入例参照) (平面図 1:300、管割図、他企業管を表示した縦横断面図、埋め戻し断面図、弁栓類オフセット図、その他必要に応じた関連図面)	A1,A2,A3で左記が1枚に収まる大きさ。(A1版1枚で収まらない場合は要相談)普通紙	3部 ※1	3部のうち1部は、(19)の水道管等寄付採納願用。
④	竣工図(乙) <給水管竣工図> (記入例参照) 印刷方法は下図のとおり。とじ代は、20~25mm程度。 	A3 110kg~135kg上質紙	2部	必須
⑤	上記の①,③,④のデータが入ったCD等 ③,④ 竣工図のデータについて ・ JWWまたはdxf ・ pdf ・ jpeg(300dpi以上)	CD、DVDなど(e-mail等でのデータ転送、USBメモリーは不可)	1部	3種類すべて登録して下さい。
⑥	道路等占用関連図書 給水申込の際、水道局が道路等占用許可申請をした場合、完成届に添付する図書(写真、図面等)を提出して下さい。	A4,A3	2部	申込者が直接、道路等管理者に提出する場合は不要。
⑦	権利譲渡承認申請書(県道、河川、港湾等)	A4,A3	3部	※3

・配水管がφ50mm以下の場合(割T字管～第一仕切弁間のみがDGXの場合を含む)

	提出書類	用紙の大きさ、紙質	部数	備考
①	工事写真	A4	—	下書き用で提出済
②	竣工図(甲)＜配水管竣工図＞(記入例参照) (平面図 1:300、管割図、他企業管を表示した縦横断面図、埋め戻し断面図、弁栓類オフセット図、その他必要に応じた関連図面)	A3 普通紙	3部 ※1	3部のうち1部は、(19)の水道管等寄付採納願用。 管延長の計上方法については、4. 配水管工事標準仕様書を参照。
③	竣工図(乙)＜給水管竣工図＞(記入例参照) 印刷方法は下図のとおり。とじ代は、20～25mm程度。	A3 110kg～135kg上質紙	2部	
				
④	竣工図(丙)＜配水管竣工図＞(記入例参照) 表面は③と同じ。裏面には②の竣工図を印刷する。 とじ代は、③と同じ。	A3 110kg～135kg上質紙	2部	
⑤	上記の①,②,③のデータが入ったCD等 ②,③ 竣工図のデータについて ・ JWWまたはdxf ・ pdf ・ jpeg(300dpi以上)	CD、DVDなど (e-mail等でのデータ転送、USBメモリーは不可)	1部	3種類すべて登録して下さい。
⑥	道路等占用関連図書 給水申込の際、水道局が道路等占用許可申請をした場合、完成届に添付する図書(写真、図面等)を提出して下さい。	A4,A3	2部	申込者が直接、道路等管理者に提出する場合は不要。
⑦	権利譲渡承認申請書(県道、河川、港湾等)	A4,A3	3部	※3

※3 権利譲渡承認申請書について

当初、県道、河川、港湾等の占用申請を事業者等の名義で行った場合、申請書の譲渡人の欄に、事業者等の署名がされた申請書を3部、市水道局へ提出して下さい。

決裁完了後、譲受人の欄に明石市公営企業管理者の署名をし、2部返却しますので、申込者が県へ提出して下さい。

許可が下りましたら、県から直接水道局へ送られてきますので、受け取りに行く必要はありません。

(19) 水道管等寄付採納願 提出 申込者 ⇒ 水道局

	鑑及び添付書類	用紙の大きさ	部数
①	鑑(【開】様式第203号)	A4	1部
②	位置図(1:1000～1:5000程度)(給水申込書の③と同じ物)	A4	1部
③	付近見取図(1:500～1:1000程度)(給水申込書の④と同じ物) (位置図で場所が明確にわかる場合は、位置図のみで可。)	A4	1部
④	竣工図	上記(18)、竣工書類(清書) 参照。	1部

(20) 水道管等寄付受諾書 発行 水道局 ⇒ 申込者 受取の署名が必要です。

2. 工事に際しての留意事項

(1) 施工通知

1.給水申込から竣工までの流れ>(1)給水申込書 提出>⑩その他>⑦ 他企業(下水道、ガス、電気、電話等)への施工通知、その他各事業者への工事通知等 参照。

(2) 工事通知

明石市環境室収集事業課(ごみ収集)、環境保全課(し尿処理)、消防局へ工事通知を行うこと。なお、道路規制がある場合、収集事業課とごみ収集車の迂回等の調整を行うこと。

鉄道に近接した箇所及び路線バス、コミュニティバスの路線となっている箇所では、各事業者へ工事通知を行うこと。

(3) 道路使用

道路使用許可証の写しを水道局に提出し、原本は常時携帯すること。

(4) 工事施工日

祝日及び年末年始を除く月曜日～金曜日の9:00～17:00とし、原則監督員立会の上、施工すること。(下記「※3 工種による施工日の規制について」参照)

なお、関係官庁の指示や地元要望等により上記で施工できない場合は、水道局と協議の上、事業者において関係者と日程調整等を行うこと。

※3 工種による施工日の規制について(年末年始は別途指示)

番号	工 種	金曜日及び 祝日の前日	土曜日	日曜日 及び祝日
1	試掘	○	×	×
2	仮配管連絡工(割T字管、分水栓穿孔)	△	×	×
3	仮配管布設工	○	×	×
4	仮給水管布設工	○	○	×
5	仮給水管切替工	○	×	×
6	配水管連絡工(割T字管、分水栓穿孔)	△	×	×
7	配水管布設工	○	×	×
8	配水管の水張り(バルブ操作)	×	×	×
9	水圧検査(放水作業含む)	○	×	×
10	給水管取出し(分水栓穿孔)	○	×	×
11	給水管布設工	○	○	×
12	給水管切替工	○	×	×
13	既設管・仮配水管・仮給水管撤去工	○	○	×
14	舗装復旧工	○	○	×
15	その他雑工	○	○	×
16	供用管の断水を伴う工事(※4)	×	×	×

△は、原則施工不可。止むを得ず施工する場合は、事前に水道局と協議し、了承を得ること。

※4 4.配水管工事標準仕様書>(2)管布設工事>②連絡工事>⑦ 参照

(5) 配水管布設

4.配水管工事標準仕様書 参照。

(6) 水張り及び洗管作業

布設した新設配水管に、市監督員が水張り及び洗管作業を行う。その際、消火栓や排泥弁から放水して行うが、放流先(排水先)は施工者(指定工事業者)で確保すること。また水道局監督員から要請があれば、延長ホース等を施工者で用意すること。

なお、下水道汚水管への放流は不可とする。

(7) 水圧試験

4.配水管工事標準仕様書 > (4)水圧試験 参照。

(8) 給水管布設

5.給水管工事標準仕様書 参照。

(9) 竣工書類

1.給水申込から竣工までの流れ>(15)工事写真及び竣工書類(下書き)提出及び(18)竣工書類(清書)及び是正報告書提出参照。

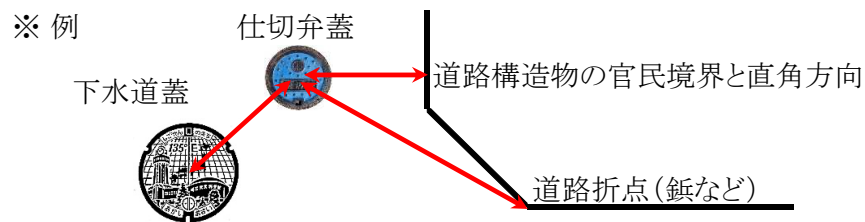
(10) 竣工検査

竣工検査は、舗装完了後に実施する。上記(9)で提出があった竣工図書(下書き)を基に、現地にて弁栓類の確認、各給水末端での通水状況、仕切弁、消火栓、空気弁、排泥弁、止水栓の状況および竣工図との突き合わせ確認を行う。検査当日は、申込者が必要器具(巻き尺、マンホールキー、止水栓キー、仕切弁・消火栓等の操作器具、HIVPエルボφ20mmなど)を用意すること。

検査内容

① 弁栓類オフセット確認

仕切弁室、消火栓室、排泥弁室等の蓋中心から、付近の道路折点、下水道人孔蓋中心など、3点からの距離を確認。



② 仕切弁確認

仕切弁の深さ、弁が全開になっているか確認。仕切弁室の向き、高さ、蓋の開閉具合の確認。

③ 排泥弁確認

排泥弁の向き、深さ、開閉確認。排泥弁室の向き、高さ、蓋の開閉具合の確認。

④ 消火栓(空気弁)確認

消火栓(空気弁)及び補修弁の向き、深さ、開閉確認(※5)。消火栓(空気弁)室の向き、高さ、蓋の開閉具合、無収縮モルタル固定の確認。

※5 消火栓の検査方法。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 補修弁を閉める。 | 5 消火栓を開ける(通水確認)。 |
| 2 消火栓を開ける(補修弁の閉止確認)。 | 6 消火栓を閉める(消火栓の閉止確認)。 |
| 3 消火栓を閉める。 | 7 消火栓の深さ確認。 |
| 4 補修弁を開ける。 | |

⑤ 給水管確認

明示ピンの確認。

第一止水栓を開けて、給水管の通水を全数確認。確認後、キャップを糊付けすること。

第一止水栓の確認。(官民境界からの離隔、止水栓管及び止水栓が傾いていないか、止水栓が止水栓管の中心にあるか、砂の量は適切か)

※ 竣工検査において、是正の指示があった際は速やかに是正し、是正完了の報告をすること。

3. 給配水管工事共通仕様書

(1) 総則

- ① 法令等の厳守
給配水管布設工事の施工にあたり、明石市指定給水工事事業者(以下、業者とする)は、建設業法・道路交通法・騒音規制法・労働基準法・労働者災害補償保険法・労働安全衛生法・その他関係法規を厳守し、必要な諸手続きを行い、事故等を起こさないよう十分注意すること。
- ② 適用
施工は、明石市給水装置施工基準(最新版)や、使用する管種、継手の各協会の施工要領及び本仕様書に従って施工すること。また、不明な点等は、明石市水道局監督職員(以下、監督員という)の指導を受けるものとする。

(2) 材料

本工事に使用する材料は、日本工業規格(以下「JIS」という)、日本水道協会規格(以下「JWWA」という)、日本ダクタイル鉄管協会規格(以下「JDPA」という)等に適合すること。また、明石市水道局が材料分類ごとに指定したメーカー(給水装置工事施工基準に記載の使用材料登録業者一覧表)の製品(以下「指定品」という。)を使用すること。指定品以外の製品及び特殊品を使用する場合については、使用材料承諾願を提出し、市監督員の承諾を得た後、使用すること。

材料の確認

- ① 工事用材料は、使用前にその品質、寸法又は見本品について監督員の確認を受けること。ただし、指定品は、確認を省略することができる。
- ② 業者は、監督員の材料確認に際して立会うこと。立会わないときは、業者は確認に対し、異議を申し立てることはできない。
- ③ 業者は、材料確認した材料は損傷、変質等の不良化しないように保管すること。
- ④ 業者は、材料確認した材料が使用時に損傷、変質等している場合は、新品と取替、再確認を受けること。不良品は現場から直ちに搬出すること。

4. 配水管工事標準仕様書

当仕様書は、φ50mm以上を使用する場合に適用する。φ40mm以下(原則、開発及び位置指定道路への配水管に使用することは認めていない)については、5.給水管工事標準仕様書を適用すること。

(1) 材料

開発事業協議完了通知書に別途記載がある場合を除き、明石市水道局の規格を以下に示す。また、各種材料は最新の基準書を遵守したものをを使用すること。

- ① 材料の規格(ダクタイル鋳鉄管の場合: φ75mm以上で使用)
 - ㊦ 原則GX型S種管とする。
 - ㊧ 仕切弁・消火栓・補修弁について、開閉方向は左開きとする。
 - ㊨ 弁栓類等で使用するフランジの規格は2種(0.75MPa)とする。
 - ㊩ 不断水割T字管は耐震型を使用することを標準とする。
 - ㊪ 割T字管部分には、密着コア(ステンレス製)を設置すること。
 - ㊫ 消火栓・空気弁・仕切弁の鉄蓋・受枠・ボックスについては、明石市水道局性能規定書による製品とする。
 - ㊬ フランジ継手に使用するボルト類はステンレス製で、座金(ステンレス製)を両側に使用すること。
 - ㊭ ボルトは、締め付け後のねじ山が3山程度残る長さとする。
 - ㊮ 滑材は管種に応じ専用の滑材を使用すること。
(ダクタイル鉄管継手を接合する場合は、ダクタイル鉄管継手用滑剤を使用のこと)
 - ㊯ 切管の切り口は、専用の塗料等により丁寧に補修すること。
 - ㊰ K型管等の特殊押輪は3DkN型を標準とする。
 - ㊱ K型ゴム輪について、同軸押輪・芯出ゴム輪又は同芯ゴム輪と同等品以上とすること。
 - ㊲ K型管のT頭ボルト・ナットについては、酸化被膜製と同等品以上とすること。
 - ㊳ 管周りの埋戻しは、スクリーニングス(JIS A5001 F-2.5)とする。
湧水が多い等、上記での施工が難しい場合は、監督員と協議の上、海砂(洗い砂)とすること。
- ② 材料の規格(ポリエチレン管の場合: φ50mm及び一部φ75mmで使用)
 - ㊴ 水道配水用ポリエチレン管(JWWA K144及びJWWA K145 以下PE管という)とする。
 - ㊵ 配水本管から分岐する箇所より最初の仕切弁までは、GX φ75mmを使用し、規格については上記①と同様とする。
 - ㊶ 仕切弁の二次側で、異種異径管継手GX φ75mm×PE φ50mmを使用し、φ50mmに減径すること。
 - ㊷ 上記㊵以降、PE φ50mmを使用すること。
 - ㊸ 接合等については、各メーカーの施工要領書に則ること。
 - ㊹ 末端部で、異種管継手PE φ50mm×HI φ50mm及びHI異径管継手φ50mm×φ40mmを使用し、排泥弁φ40mmを設置すること。

(2) 管布設工事

① 共通事項

㊺ 配管工

- i 業者は工事に先立ち、配水管技能者の資格証の写しに写真及び当該工事で使用する継手の施工実績を添付して市監督員に提出すること。
なお、上記の資格証とは、各管協会または、各製造業者の本工事で使用する継手型式、口径の講習修了証等である。
※ 1.給水申込から竣工までの流れ>(1)給水申込書 提出>⑨給水装置工事主任技術者名簿(資格証の写し添付)、⑩配管工名簿(管種に応じた受講修了証の写し添付)により確認。
- ii 業者は、管を布設するときには、上記資格を有する配管工が、当該工事で使用する形式・口径の施工要領等に従って施工すること。(鋳鉄管においては日本ダクタイル鉄管協会の接合要領書、PE管については、各メーカー指定の接合要領)
なお、上記の配管工が不在の場合は配管作業を認めない。

㊻ 連絡工事

- i 連絡工事箇所は、事前に試掘調査を行い、連絡する既設管及び他の近接埋設物を現認し、計画通り不断水工事が可能か確認すること。(耐震型割T字管が設置出来ない場合があるので、材料発注等は、試掘後に行うこと)

- ii 連絡工事にあたっては、事前に施工日時等を市監督員と調整の上、行うこと。
- iii 供用管の断水を伴う工事を行う場合、断水時間は月曜日から木曜日の13時30分から16時を基本とすること。

㊦ 広報活動

- i 断水工事を行う場合には、事前に断水となる家屋等を調査し、断水のビラを作成し、市監督員が確認したあと、当該家屋に配布すること。そのビラには、日時・区域・連絡先及びその他必要事項を記入すること。
- ii 断水を伴わない場合でも、仕切弁の開閉操作等により、工事箇所周辺に濁水発生のおそれがある場合は、市監督員と協議したうえで、断水のビラと同様の赤水等発生予測のビラを作成し、市監督員が確認したあと、当該家屋に配布すること。
- iii 上記の広報活動をする場合に、当該区域内にある、公共施設・店舗・病院・工場・浴場等には事前に個別に了解を得ること。
- iv 貯水槽物件があれば、事前にその設置管理者と打合せを行い、ポンプ電源や流入側バルブ等の閉止措置を行うこと。

㊧ 弁栓類操作

- i 断水工事又は管内洗浄作業等に必要の弁栓類操作は、市監督員立会いのもとで、作業を開始すること。断水作業等にかかる時間をできるだけ短縮するため、必要な諸設備・機械器具及び車輛等を十分点検し、作業員も十分に配置すること。
- ii 業者は、上記作業を行う場合には、苦情に対応できる体制を整えること。
- iii 仕切弁の操作は、水道局監督員にて行うが、赤水発生防止のため、急激な開閉を避け、十分に時間をかけること。
- iv 工事完了後の通水は、上流側の仕切弁を水の流れが急激に変化しないよう慎重に開き、下流側の消火栓等を開いて排水し管内を洗浄すること。配水管の流れが複雑な場合は、全ての流れに対してこの作業を行い、赤水等が施工範囲の外側に広がらないようにすること。
- v 排水は原則として、路面に放出せず消火栓ホースを用いて、側溝等に直接排水すること。特に冬季の排水には注意すること。また、下水道の汚水管へは排水しないこと。
なお、濡れた路面が凍結の恐れがある場合は、凍結防止剤を散布すること。
- vi 断水した場合は完了後、断水家屋や影響範囲の家屋のメーター一部にて放水作業を行うこと。

② ダクタイル鋳鉄管の場合

㊦ 接合注意事項

- i 管の接合については、継手形式に沿った接合要領書に則って施工すること。
- ii ボルトの締め付けに際しては、対称的な位置を順次締め、片締めにならないように、ゴム輪の圧縮を均等にさせること。
- iii インパクトレンチを使用する場合には、締め付けの7割程度とし、残りはトルクレンチで締め付けること。
- iv トルクの管理については、チェックシートに全箇所記載し、竣工図書で提出すること。締め付けトルクに関しては標準値を下記の表に示す。

管種	呼び径	ボルトの呼び	締め付けトルク
			(N・m)
K形	75	M16	60
	100～600	M20	100
GX形	75	M16	100
	100～250	M20	100
フランジ形	75～200	M16	60

- ④ 継手部のチェックゲージ及びチェックシートの作成
継手については、全箇所チェックゲージにて、ゴム輪が適切な位置に、はめ込まれているか確認し、継手チェックシートを作成の上、竣工図書で提出すること。
- ⑤ 特殊押輪・離脱防止金具
K形の特殊押輪は、3DkN以上の離脱防止性能を有するものを使用すること。既設管の継手部の補強が必要になった箇所(一体化長範囲の継手部)についても、離脱防止金具(3DkN)を使用すること。
- ⑥ ボックス近接部処理
仕切弁と消火栓等ボックス類が近接する箇所については、ボックス間の離隔を1m程度取るように施工すること。
- ⑦ 管の明示
 - i 管の識別を明確にするために、管明示テープ(青色・幅5cm、工事発注年度記載)を使用して、上水道管であることを明らかにすること。貼付は、管頂部に縦断貼りし、1m間隔で胴巻きを行うこと。
 - ii 地下埋設管標示シート(水道・幅150mm・2倍折込)は、管天より40cmの位置に丁寧に設置すること。(管頂上40cmの締固め完了後設置)
- ⑧ 管保護スリーブ
直管に内面粉体塗装を使用している路線については、「粉体塗装管」と記載しているポリエチレンスリーブを使用すること。

③ ポリエチレン管の場合

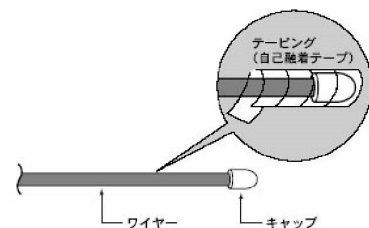
- ⑦ 接合注意事項
 - i 管の接合については、各メーカー指定の工具を使用し、施工要領書に則って施工すること。
 - ii 融着の管理については、EF継手チェックシートに全箇所記載し、竣工図書で提出すること。
 - iii 異種管との接合については、適合する異種管継手を使用すること。

- ⑧ 管保護スリーブ
各メーカー指定の熔融浸透防止スリーブを使用すること。

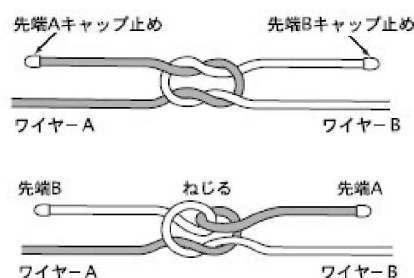
- ⑨ 管の明示
ダクタイル鋳鉄管の場合と同様とする(上記参照)。

- ⑩ ロケーティングワイヤーの設置
埋設後に漏水調査、布設替等において管路探査を可能にするために、ロケーティングワイヤーの施工を基本とする。使用材料は芯線が断線した場合にも探査できるよう導電性カーボンゴム等により被覆された専用のワイヤー(φ3.4mm)を使用するものとし、以下の要領に基づき施工するものとする。

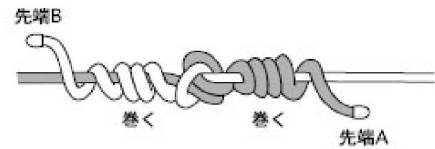
- i ワイヤー先端部の処理
ワイヤーの先端部は水分が入ると錆が生じ、内部に進行するので必ず指定のキャップで先端部の処理を行うこと。



- ii ワイヤー相互の接続
 - a. ワイヤーAとワイヤーBを結ぶ。
キャップで先端部の処理を行う。
 - b. 結び目をねじってAの先端をB側のワイヤーに、Bの先端をA側のワイヤーに向ける。



- c. Aの先端をBのワイヤーに、Bの先端をAのワイヤーにそれぞれすきまなく15cm程度巻く。



- d. 巻きつけた上から自己融着テープでテーピングをする。



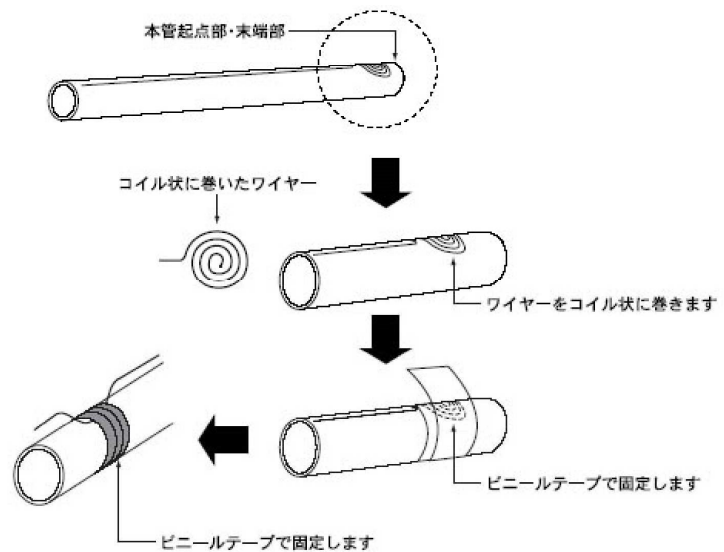
※自己融着テープでテーピングした後、さらにビニールテープを巻くとよい。

iii 配水管への施工

- a. 本管(配水管)部

配水管末端部(排泥弁・消火栓・空気弁直前)において、**熔融浸透防止スリーブの外側に**、先端処理したワイヤーを5~6回程度コイル状に巻いてビニールテープで固定する。固定後、ワイヤーを、**熔融浸透防止スリーブ外側**の配水管上に、若干の緩みをもたせながら配線し、**適当な間隔(2m程度)**をビニールテープ(明示テープ)で固定する。

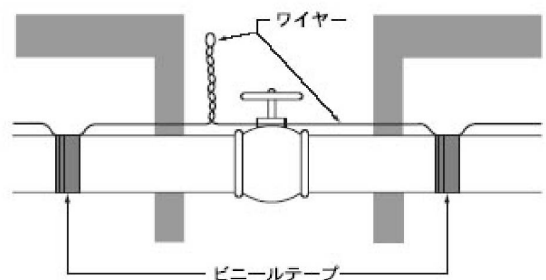
なお、末端部の消火栓等については、次頁 ii に記載の通り、ボックス内で立ち上げも可とする。



- b. 仕切弁・排泥弁・消火栓・空気弁ボックス部
起点部の仕切弁ボックス部分は、先端処理したワイヤーを、地上から手が届く位置まで立ち上げ、ボックス内の蝶番等に括り付けておく。

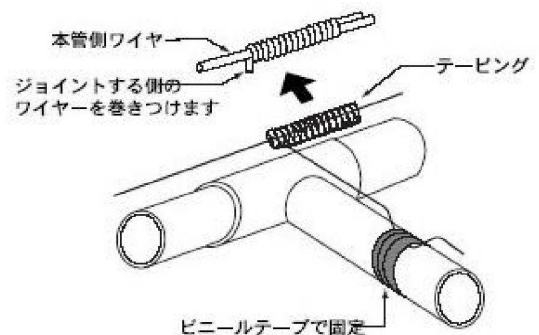
中間部の仕切弁、消火栓等のボックス部分は、ワイヤーを切断せず、ねじって右図のように折り返して輪をつくり、地上から手が届く位置まで立ち上げ、ボックス内の蝶番等に括り付けておく。

ボックス内の立ち上げ部分については、弁栓類を操作する際の、支障にならないように施工すること。



- c. T字管部

T字管等の分岐箇所については、本管側のワイヤーに隙間なく15cm程度巻きつけビニールテープ(明示テープ)で固定する。



④ 仮配水管

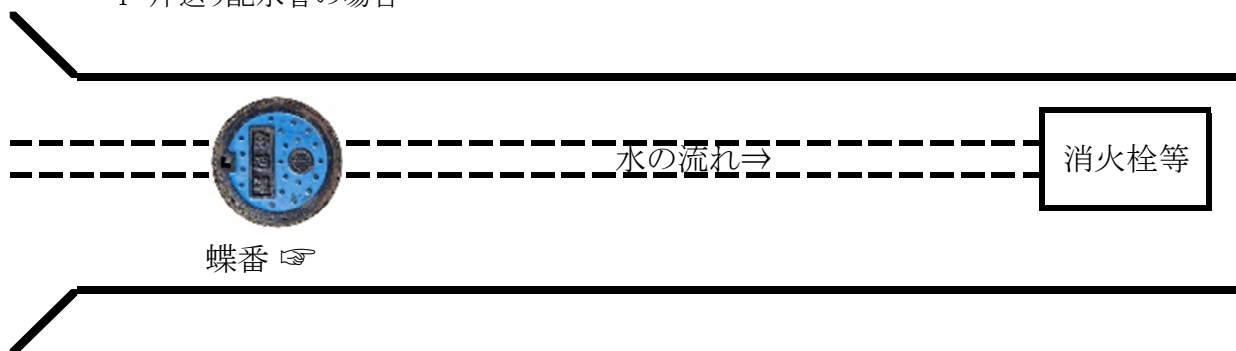
仮消火栓を配置する箇所について、「仮消火栓」の看板等を設置して明示するとともに、撤去予定の消火栓の鉄蓋に使用禁止を明示すること。

⑤ 弁栓類及びボックスの設置

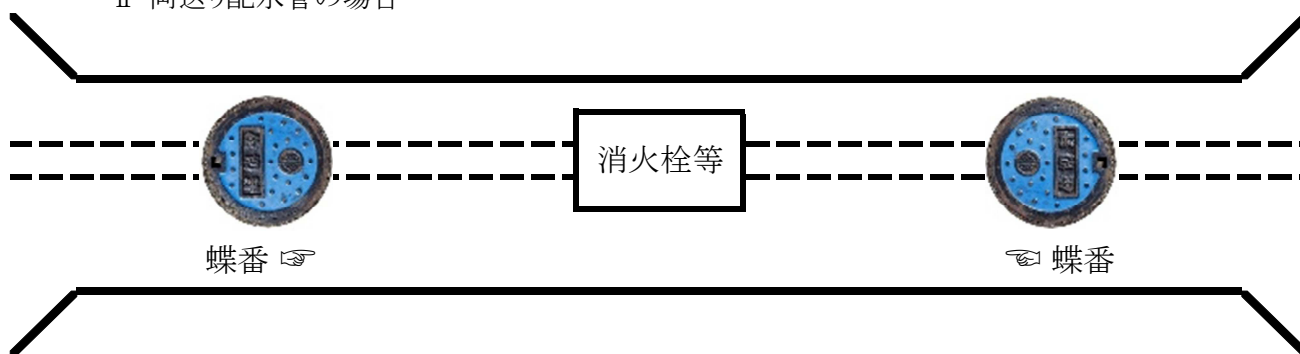
原則下図のとおりとするが、道路管理者及び消防局等からの指示、現場の状況等により例外もあるため、施工前に水道局へ確認を行うこと。

⑦ 仕切弁

i 片送り配水管の場合



ii 両送り配水管の場合



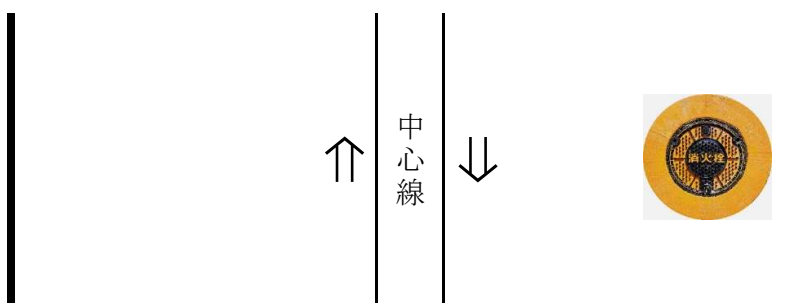
① 消火栓、空気弁付消火栓及び空気弁

i 車道(突当り部)



車道(道路突当り部)に設置する場合、蓋を開く際に、道路末端側に、蝶番がくる方向に設置すること。

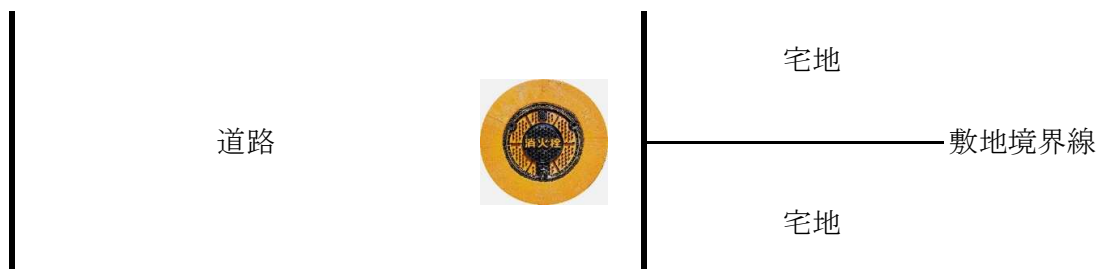
ii 車道(一般部)



車道(一般部)に設置する場合、蓋を開く際に、自動車の進行方向と対面する方向に設置すること。

iii 民有地との位置関係

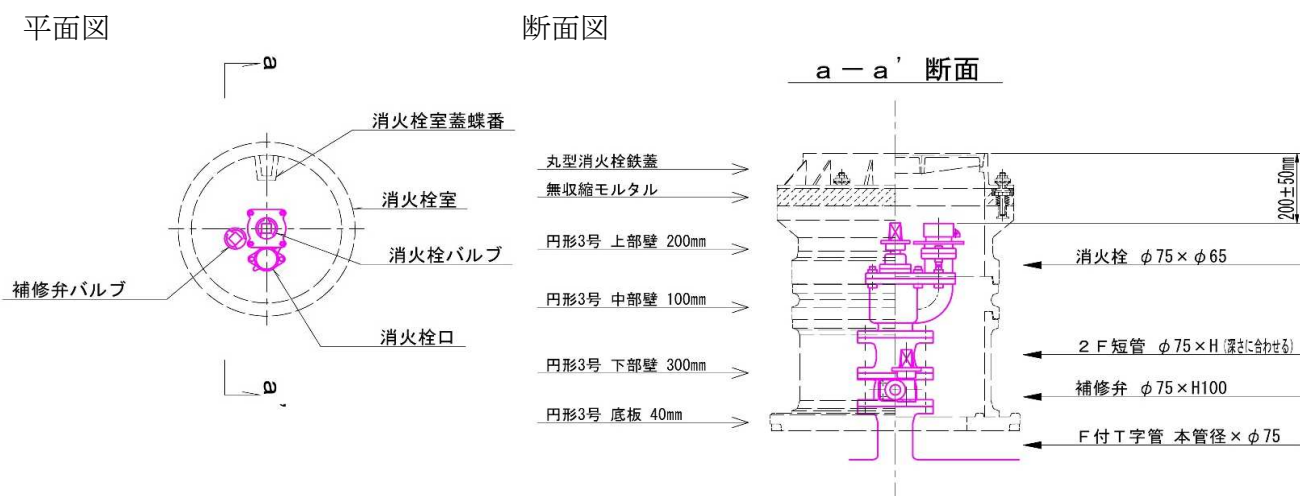
玄関や門の前を極力避け、敷地境界の延長線上や公園等公共施設の前に設置すること。



iv 消火栓の据付方向及び高さ

消火栓及び補修弁は、下図の位置になるよう設置すること。

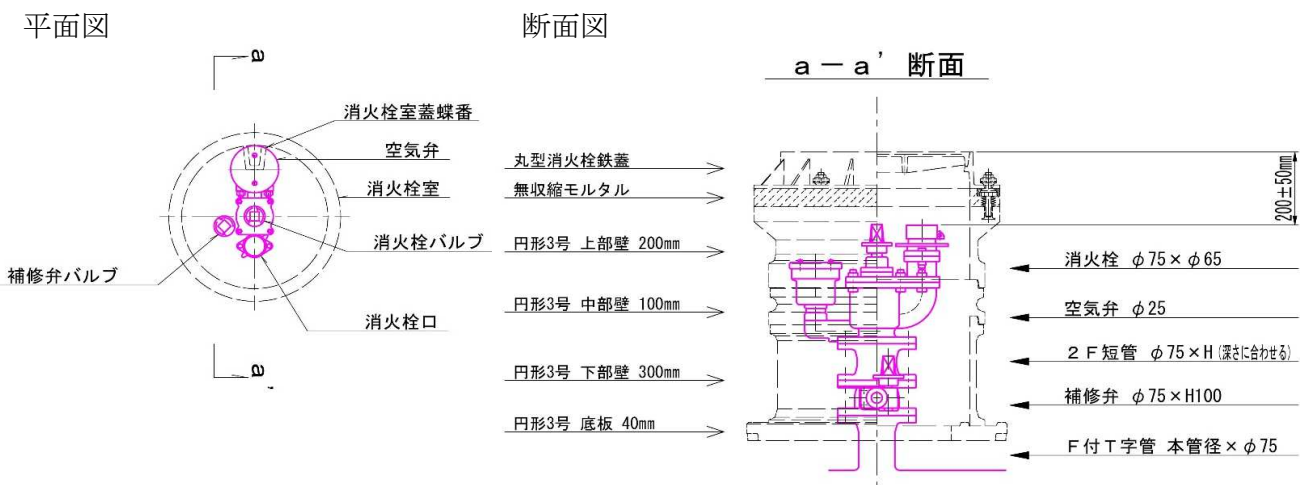
補修弁バルブは、道路の中心線側に設置すること。(下図平面図の場合、道路の中心線が図の左側にある)



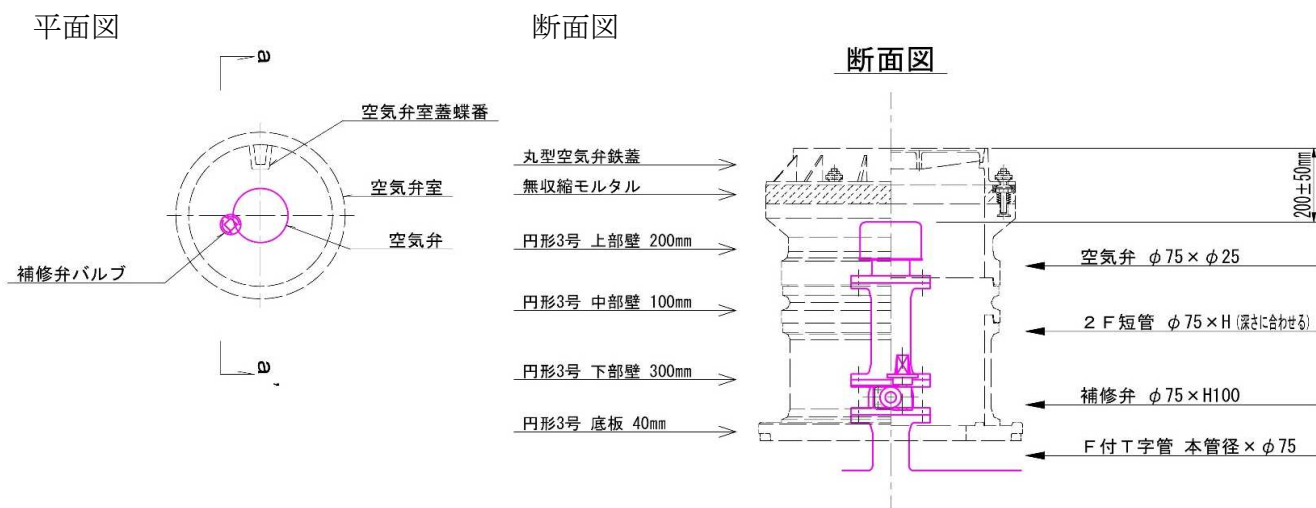
v 空気弁付消火栓の据付方向及び高さ

消火栓、空気弁及び補修弁は、下図の位置になるよう設置すること。

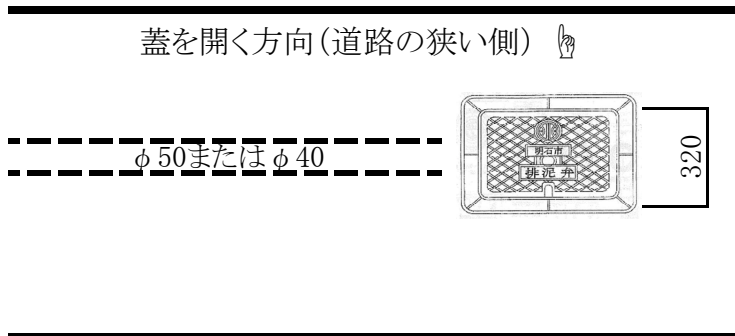
補修弁バルブは、道路の中心線側に設置すること。



- vi 空気弁の据付方向及び高さ
 空気弁及び補修弁は、下図の位置になるよう設置すること。
 補修弁バルブは、道路の中心線側に設置すること。

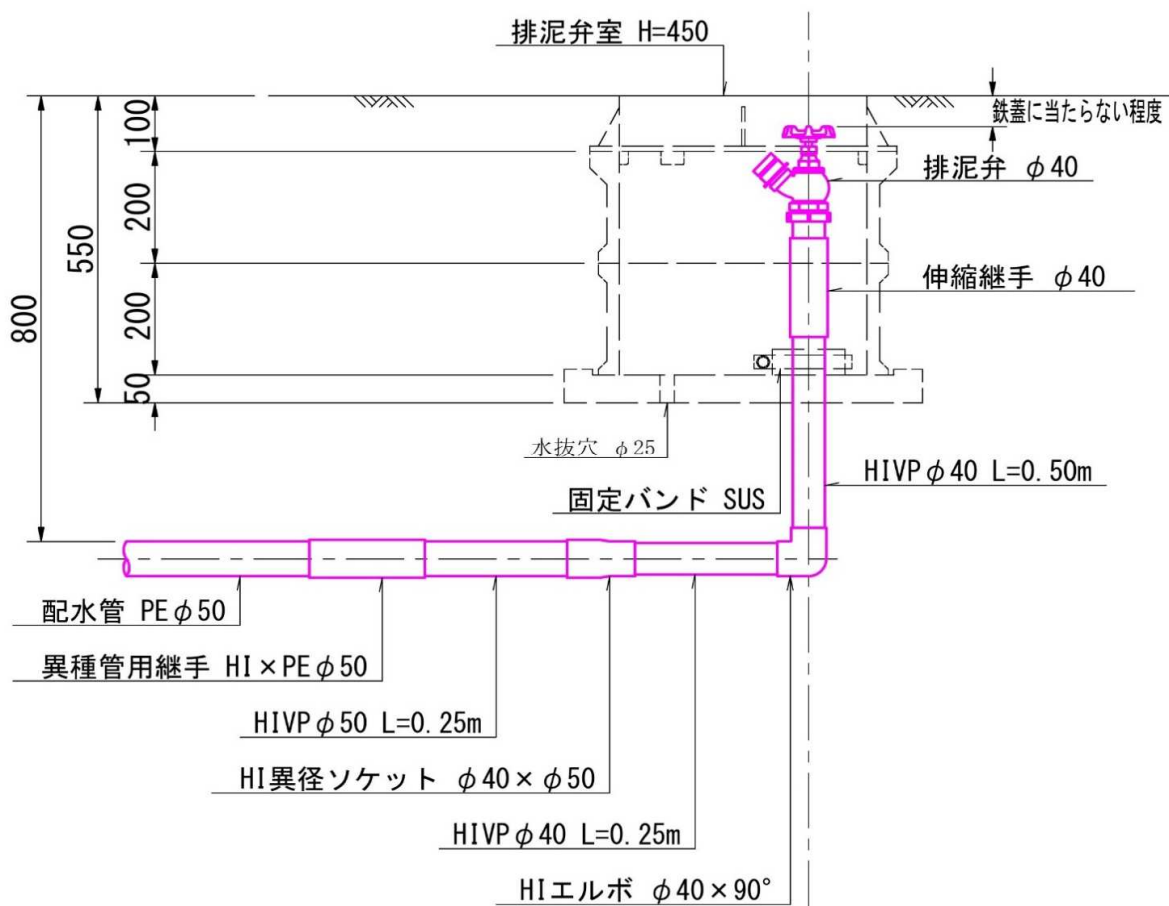


㊦ 排泥弁

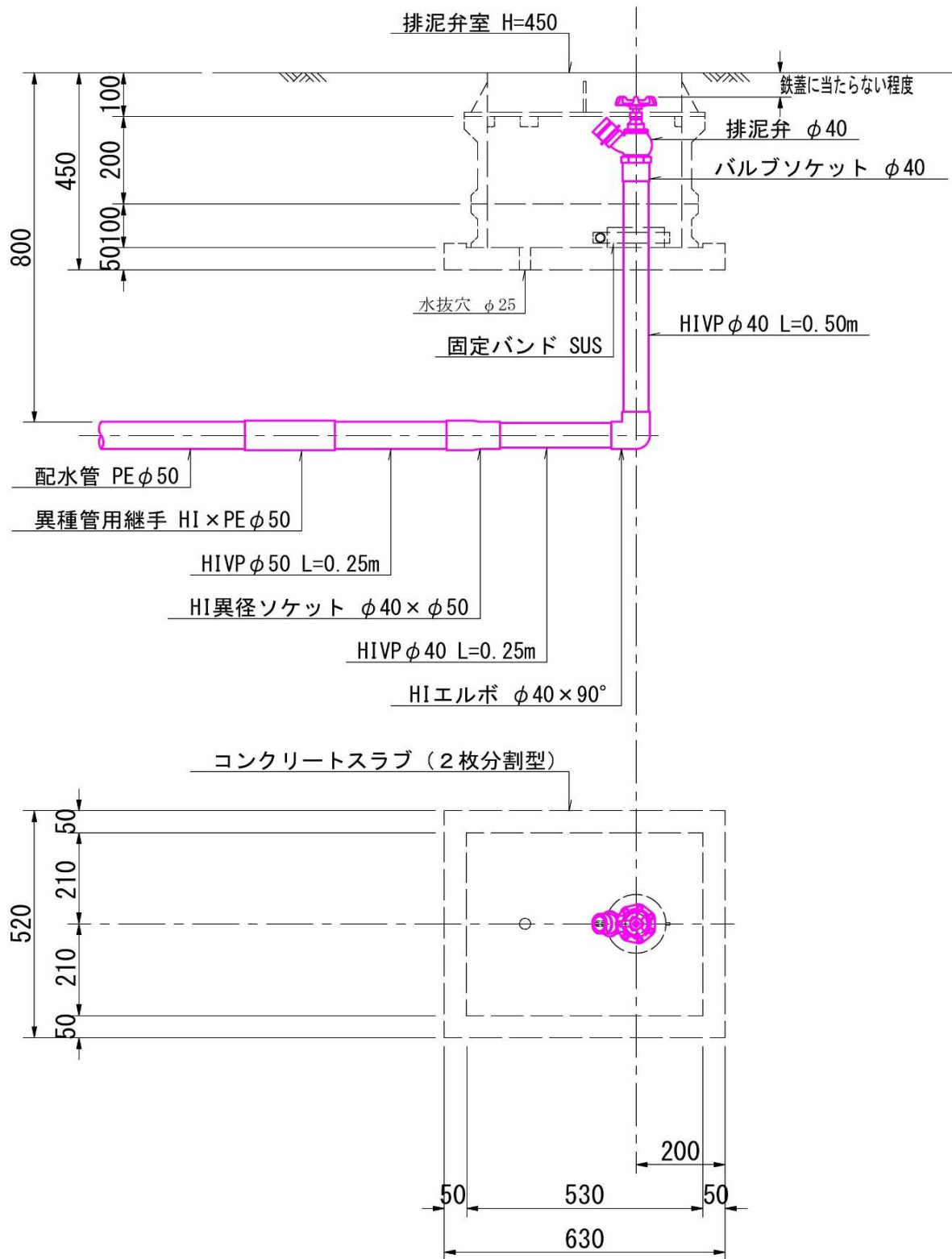


排泥弁の口は次頁図のとおり、配水管の上流方向に向けて設置すること。

例1. 伸縮継手使用 (平面図は次頁の、バルブソケット使用と同)

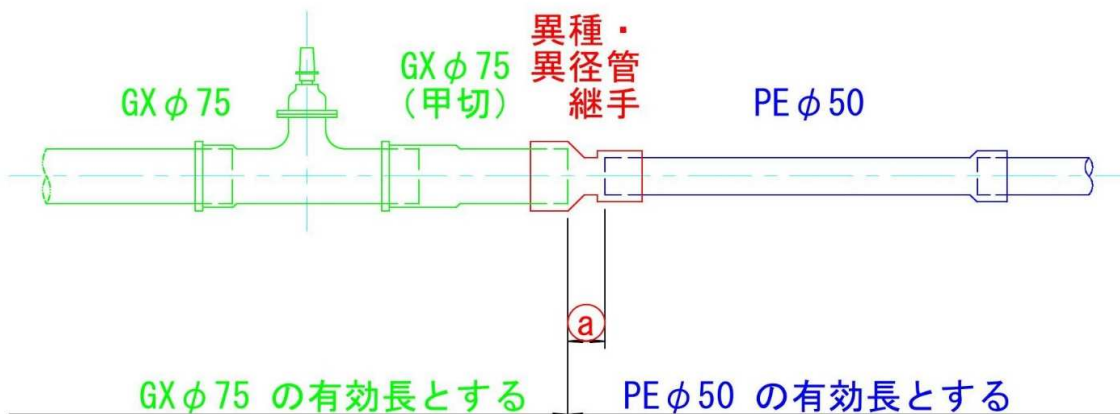


例2. バルブソケット使用



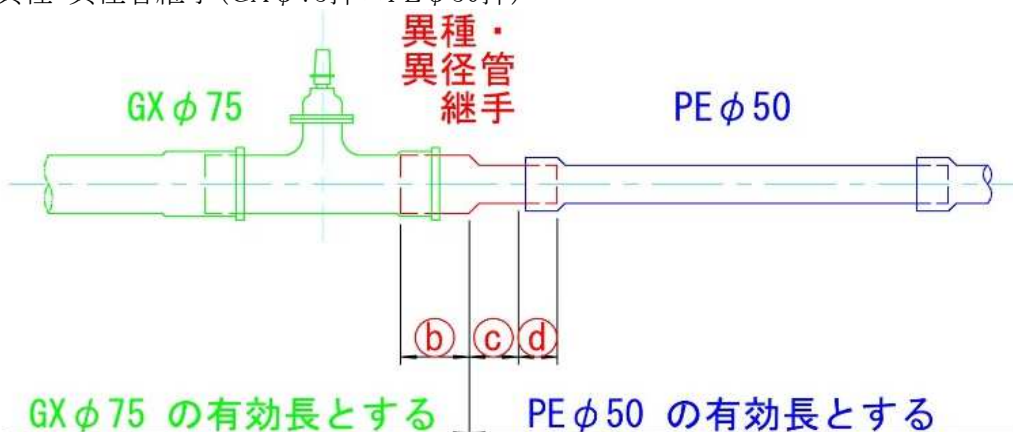
⑥ 異種管継手及び異径管継手の延長計上について

㊦ 異種・異径管継手 (GX φ75受×PE φ50受)



異種・異径管継手 (GX φ75受×PE φ50受)		
メーカー	名称	㉑の寸法(mm)
コスモ工機(株)	PCジョイント片落型	49.5
大成機工(株)	メカポリPCジョイント片落	12.5

㊧ 異種・異径管継手 (GX φ75挿×PE φ50挿)



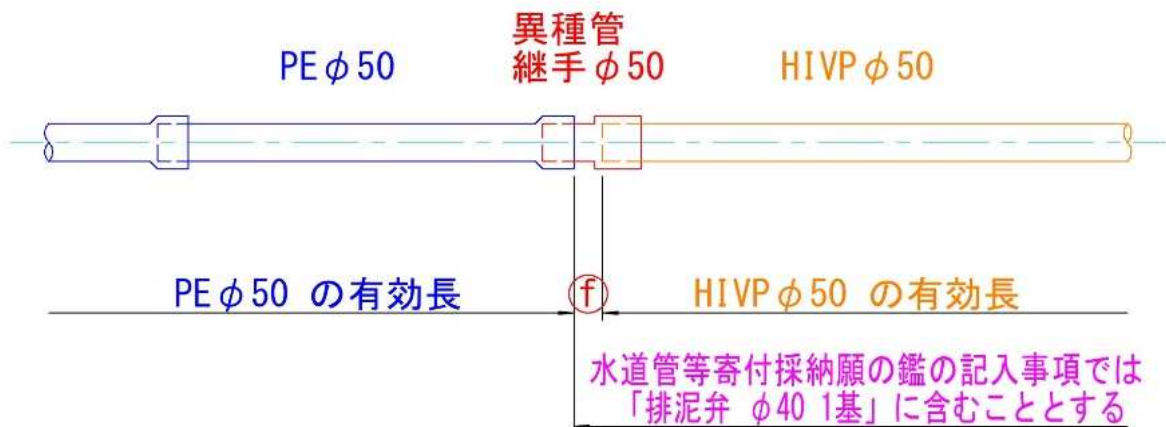
異種・異径管継手 (GX φ75挿×PE φ50挿)			
メーカー	名称	㉒(mm)	㉓+㉔(mm)
(株)クボタケミックス	ダクタイトル鋳鉄管用異種管継手<N形> GX形	320	410
(株)クボタケミックス	ダクタイトル鋳鉄管用異種管継手 GX形	300	390
コスモ工機(株)	ポリエチレン管挿し口付PCジョイント2型 (GX形)	210	315
積水化学工業(株)	GX形ダクタイトル鋳鉄管用異種管継手	181	454

㊨ 異種管継手 (PE φ50受×HI φ50受)



異種管継手 (PE φ50受×HI φ50受) : ㉕の部分は延長に含めない。

㊦ 異種管継手 (PE φ 50挿×HI φ 50受)



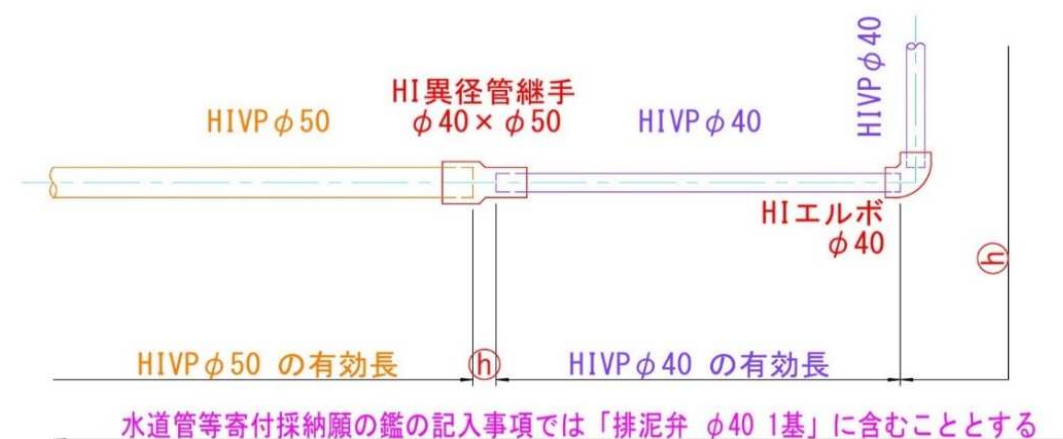
異種管継手 (PE φ 50挿×HI φ 50受) : ㉑の部分は延長に含めない。

㊧ 異種・異径管継手 (PE φ 50受×HI φ 40受)



異種・異径管継手 (PE φ 50受×HI φ 40受) : } ㉒の部分は延長に含めない。
 HIエルボ φ 40、HIVP φ 40直管 (縦管部分) : }

㊨ 異径管継手 (HI φ 50受×HI φ 40受)



異径管継手 (HI φ 50受×HI φ 40受) : } ㉓の部分は延長に含めない。
 HIエルボ φ 40、HIVP φ 40直管 (縦管部分) : }

(3) 埋戻・仮復旧・路面標示

※例

	アスファルト	
	粒調砕石(M30)	
	再生切込砕石 (RC-40)	← 地下埋設管 標示シート
	—	
	スクリーニングス	← 管
	○	管接合箇所
	JIS A5001 F-2.5	

- ① 埋戻工
- ㊦ 管まわり及び管上部20cmの埋戻しは、スクリーニングス (JIS A5001 F2.5)とする。地下水位の状況等によっては、水道局監督員と協議して洗い砂に変更すること。
 - ① 管側部や管下は、埋戻し材料が充填しにくいので、左右均等に突き棒等で十分に突き固め、木たこや人力足踏み等で十分に締固めること。
 - ㊧ ㊦より上部、路盤までの埋戻しは、再生切込砕石 (RC-40)とする。
 - ㊨ 一層の仕上厚は20cm以下とすること。
 - ㊩ 舗装復旧構成は、道路管理者の指示によること。

- ② 仮復旧
- 既設舗装道路の掘削後の交通規制解除にあたっては、即日埋め戻し、加熱合材での仮復旧を行うこと。掘置き仮囲い、掘置き鉄板敷、路盤等での交通解放は認めない。
- 仮復旧した箇所について、路面表示部分を掘削した場合は、本復旧までの間、同色のペイント等で修復すること。
- 水道の仮舗装箇所と分かるように、水色塗料で「水道・仮舗装」の表示を行うこと。

- ③ 消火栓の黄線標示
- 舗装工事後、消火栓(鉄蓋)の周囲は黄色の路面標示(溶融式 幅150mm、厚1.5mm)を設置すること。

(4) 水圧試験

市監督員立会で、新設配水管の水圧試験を実施する。水圧試験は、監督員が管内充水後、特に監督員からの指示がある場合を除き、下記の試験水圧まで加圧し確認するものとする。また、水圧計は地面より70cm程度の高さに設置すること。なお、加圧用ポンプ、水圧計(MPa仕様)等の測定器具を準備すること。(残留塩素及びpH測定器具は、市監督員が持参。)

また状況により、自記録計使用による24時間計測を指示する場合もあるので留意の事。

- ① 通常配管(以下の特殊箇所以外)の場合、試験水圧を0.75MPaとする。30分以上の経過後、低下率1.0%以内を許容限度とする。
- ② 不断水工事の割T字管箇所は、試験水圧を1.25MPaとする。ただし、既設管の状態(FC管又は表面の腐食等が激しい場合)・VP管の場合は、最高試験水圧は1.0MPa以下でもよい。5分以上その状態を保持し、水圧の低下の無いことを確認するものとする。
- ③ 中大口径のメカニカル継手管で、監督員が認めた場合は、テストバンドによる継手の水密性検査をもって、水圧試験に代えることが出来るものとする。この場合は、水圧0.50MPaを負荷して5分経過後に0.40MPa以上保持することを確認するものとする。
- ④ 配水用ポリエチレン管、鋼管等の場合は、監督員の指示により、試験水圧を決定する。

※ 試験時の黒板記入例 (GX)

工事名	〇〇町〇〇字〇〇地内開発 事業に伴う配水管布設工事		
工種	配水管布設工 (水圧試験)		
測点	消火栓(No.1)		
10月11日(月)			
GX φ100mm L=66.5m			
残塩 0.4mg/ℓ			
常圧	0.44MPa	10:15	pH 7.0
加圧	0.75MPa	10:25	
加圧	0.75MPa	10:55	
立会人	〇〇	〇〇水道設備(株)	

※ 試験時の黒板記入例 (PE)

工事名	〇〇町〇〇字〇〇地内開発 事業に伴う配水管布設工事		
工種	配水管布設工 (水圧試験)		
測点	排泥弁		
10月11日(月)			
PE	φ50mm	L=35.0m	残塩 0.5mg/ℓ
HIVP	φ50mm	L=0.3m	pH 6.8
HIVP	φ40mm	L=0.3m	
常圧	0.33MPa	9:30	
加圧	0.75MPa	9:40	
加圧	0.75MPa	10:10	
立会人	〇〇	(株)〇〇建設工業	

5. 給水管工事標準仕様書

(1) 材料の規格

- ① サドル分水栓による分岐箇所には、密着コアを挿入すること(材質は基準書参照)。また専用の防食フィルムを巻き付けること。
- ② 管周りの埋戻しは、スクリーニングス(JIS A5001 F-2.5)とする。

(2) 管布設工事

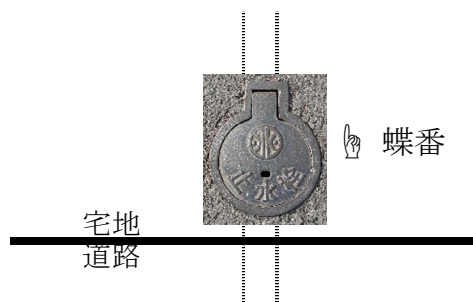
- ① 配管工
本工事の施行については、明石市指定給水装置工事業者が給水装置工事施工基準に基づき施行すること。また、給水装置工事主任技術者の資格証の写しを写真とともに監督員に提出すること。
- ② 管の明示
 - ㊦ 管の識別を明確にするために、管明示テープ(青色・幅5cm)を使用して、上水道管であることを明らかにすること。なお給水管においては、螺旋状に貼り付けること。
 - ㊧ 地下埋設管標示シート(水道・15cm幅・2倍折込)は、管天より40cmの位置に丁寧に設置すること。
- ③ 使用機材
内面粉体塗装管の穿孔作業をするときは、先端角度が90° から100°、ねじれ角度が20° から30°の電動式穿孔機を使用すること。
その他、モルタルライニング、PE、HIVP等、それぞれ適合する機材を使用すること。
- ④ 水圧試験
水圧試験は、サドル分水栓部分のみ配水管がダクタイル鋳鉄管については1.75Mpa、PE管及び塩ビ管については1.00Mpaまで加圧し、1分間以上のその状態を保持して、水圧の低下の無いことを確認するものとする。
- ⑤ 引込位置明示鋲
官民境界付近の構造物上に、給水管の引込位置を明示する鋲等を設置すること。



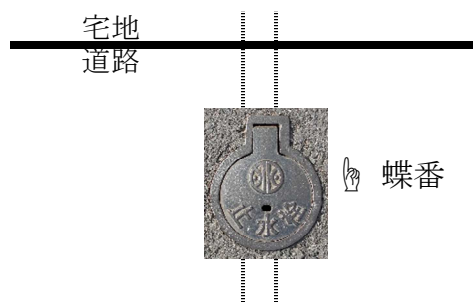
⑥ 第一止水栓(公道止水栓)

第一止水栓の設置位置については、新設道路部は宅地内(引込位置の官民境界から30cm程度)に、既設道路部は原則公道上(側溝等の道路構造物から20cm程度)に設置すること。但し、既設道路部における設置については、道路管理者の指示に従うこと。
設置位置、蓋の方向については原則以下のとおりとするが、例外が有るため、その都度水道局へ確認すること。

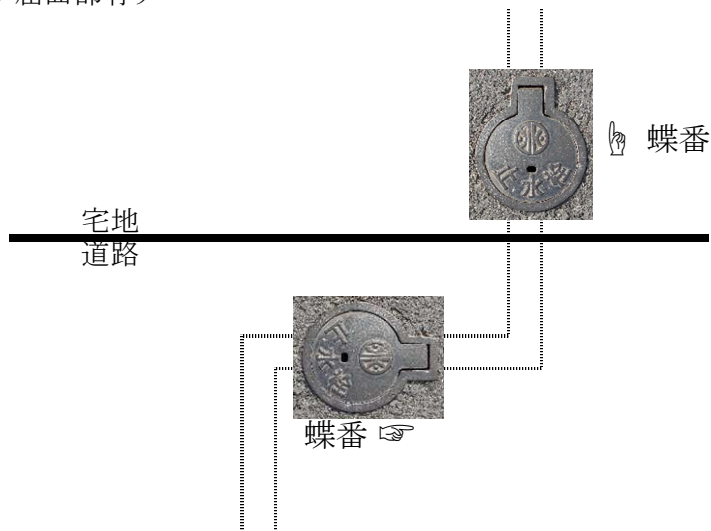
㊦ 新設道路部



㊧ 既設道路部

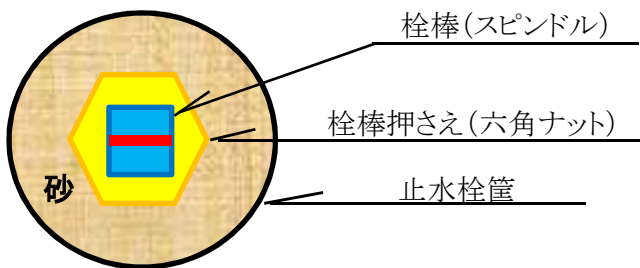


㊦ 屈曲部有り



また止水栓筐の中には、栓棒押さえ(六角ナット)の上面と面一になる程度まで砂を入れること。

※止水栓筐の蓋を開けて、上から見た図。



見本

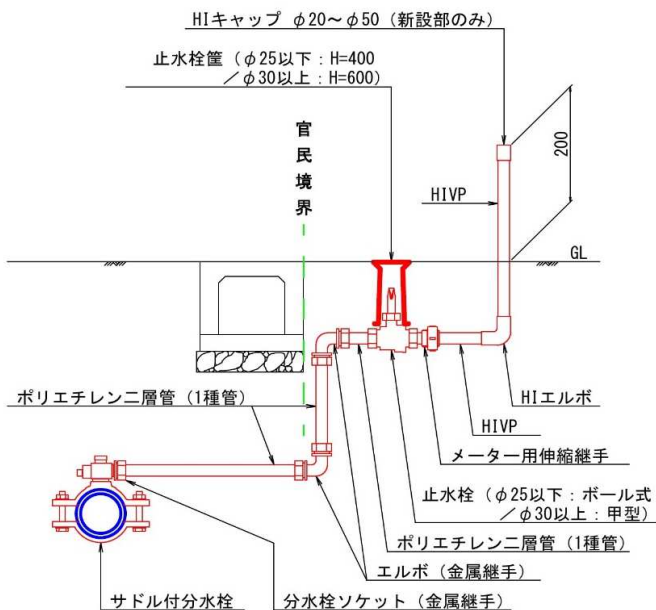


㊦ 宅内給水管

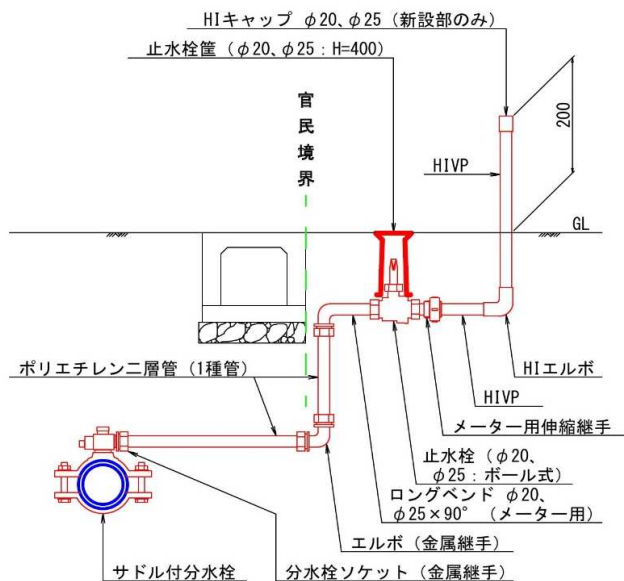
止水栓以降でGL+20cm程度立ち上げて糊付けをせずにキャップをしておくこと。

(3) 給水管布設概要図

・従来方式



・ロングバンド使用



6. 位置指定道路に関する手続き

(1) 給水装置工事申込書 提出 申込者 ⇒ 水道局

手続きについては、給水装置工事施行基準(☛を読み取るか、インターネット検索で、明石市 > 明石市ホームページ > 各課・室別案内 > 水道局 > 水道局維持・給水担当 > 給水装置工事事業者のみなさまへ > 給水装置工事施行基準)を参照して下さい。

https://www.city.akashi.lg.jp/suidou/s_kyuusui_ka/documents/10_2024_tetuduki.pdf



(2) 監督費請求書 納入通知書兼領収書) 発行 水道局 ⇒ 申込者 受取の署名が必要です。

申込書受理日を含めて、5営業日目を目途に発行します。

(3) 分担金、監督費等、市納金の納付 申込者

納期限: 納付書発行日 + 15日(土日の場合は、次の月曜日)まで

(4) 監督費等領収書の写し 提出(任意) 申込者 ⇒ 水道局

入金確認が、金融機関から水道局へ到達するまで約10日間を要するため、承認書発行をお急ぎの場合は、監督費等領収書の写しを提出して下さい。なお、承認書が発行されるまで、現場の着工はできません。

(5) 承認書 発行 水道局 ⇒ 申込者

(6) 配水管穿孔監督依頼書 提出 申込者 ⇒ 明石市水道料金お客様センター

	鑑及び添付書類	用紙の大きさ	部数
①	鑑(【開】様式第201号)	A4	1部
②	以下の㉞㉟の許可書(写し)、㉟の回答書(写し)。		1部
	㉞ 各道路等占用許可申請書 ・ 市道、市管理道路、里道、水路敷、県道、国道(250号、和坂交差点より西側の2号) → 申込者が直接、協議・申請して下さい。 申請書に水道局の経由印を押印しますので、必要部数を作成の上、原本を提示して下さい。 ・ 国道(28号、175号、和坂交差点以東の2号、加古川バイパス、加古川バイパス側道、第二神明道路)、神戸市が管理する県道、河川、港湾、他市町道等。 → 申込者が協議を行って下さい。申請は各管理者の指示によりますが、水道局において行うよう指示があれば、必要部数+1部もしくは、データをCD等(USBメモリーは不可)に登録した物を水道局へ提出して下さい。許可が下りた後、許可書の写しをお渡しします。		
	㉟ 道路使用許可申請書 → 申込者が協議・申請して下さい。		
	㊱ 他企業(下水道、ガス、電気、電話等)への施工通知、その他各事業者への工事通知等。 → 申込者が通知・協議して下さい。		

※ 施工日の1週間前までに提出して下さい。

既設管より分岐及び延伸において、不断水工法、断水を伴う工法に関わらず、すべて必要となります。

(7) 配水管布設、給水管分岐、給水管布設

2.工事に際しての留意事項、3.給配水管工事共通仕様書、4.配水管工事標準仕様書を参照のこと。
寄付採納を行う場合、工事写真の提出が必要となりますので、各工程において写真を撮影して下さい。

(1.給水申込から竣工までの流れ > (15)工事写真及び竣工書類(下書き)提出 > ①工事写真 参照)

① 配水管分岐、布設

2.工事に際しての留意事項、3.給配水管工事共通仕様書、4.配水管工事標準仕様書 参照

② 水圧試験

試験予定日の1週間前までに「**新設給水管水圧検査願**」を提出(申込者⇒明石市水道料金お客様センター)して下さい。

様式については、明石市 > 明石市ホームページ > 各課・室別案内 > 水道局 > 水道局維持・給水担当 > 給水装置工事事業者のみなさまへ > 新設給水管水圧検査願 を参照。

https://www.city.akashi.lg.jp/suidou/s_kyuusui_ka/kyusuikoji-suiatsukensanegai.html
実施手順については、4.配水管工事標準仕様書>(4)水圧試験 を参照して下さい。

③ 給水管分岐、布設

2.工事に際しての留意事項、3.給配水管工事共通仕様書、5.給水管工事標準仕様書 参照
給水管分岐の際の、水圧試験及び穿孔監督は行いませんが、寄付採納をする場合、写真にて確認しますので、写真を撮影しておいて下さい。

(8) 竣工検査

検査予定日の1週間前までに「**給水装置工事検査願(竣工届)**、**給水装置工事自社検査報告書**、**使用材料確認報告書**」を提出(申込者⇒明石市水道料金お客様センター)して下さい。

様式については、明石市 > 明石市ホームページ > 各課・室別案内 > 水道局 > 水道局維持・給水担当 > 給水装置工事事業者のみなさまへ > 一般用竣工検査時提出書類 を参照。

https://www.city.akashi.lg.jp/suidou/s_kyuusui_ka/kyusuikoji-ipanyosyunkoukensa.html
実施手順については、2.工事に際しての留意事項 > (10)竣工検査 を参照のこと。

(9) 水道管等寄付採納願 提出 申込者 ⇒ 水道局

	鑑及び添付書類	用紙の大きさ	部数
①	鑑(【開】様式第205号)	A4	1部
②	位置図(1:1000～1:5000程度)	A4	1部
③	付近見取図(1:500～1:1000程度) (位置図で場所が明確にわかる場合は、位置図のみで可。)	A4	1部
④	竣工図	A1、A2、A3のうち、1枚に収まる大きさで。	1部

(10) 水道管等寄付受諾書 発行 水道局 ⇒ 申込者 受取の署名が必要です。

【開】様式第201号(第7条関係)

令和 年 月 日

明石市公営企業管理者 様

申請者 住所

氏名

印

給 水 申 込 書

水道施設の工事負担金に関する規程第7条の規定により、下記のとおり必要書類添付の上申し込めます。

記

1. 申 込 場 所 明石市
2. 申 込 理 由
3. 申 込 概 要

配水管等負担金該当		拡張改良負担金該当	
配水管 口径・延長		計画戸数	戸
その他水道施設		計画水量	m ³

4. 工事着工予定日 令和 年 月 日 予定

5. 工事完成予定日 令和 年 月 日 予定

6. 添 付 書 類 委任状、位置図、付近見取り図、給水計画平面図(配管割付図)、横断図、縦断図、構造図、その他詳細図等
現場体制表・緊急時連絡先一覧表
配管工資格証(耐震管)の写し、施工履歴
給水装置工事主任技術者資格証の写し
道路占用・使用許可書の写し、他企業施工通知回答書の写し ほか

【開】様式第201号(第7条関係)

※ 記入例 (文字は黒で)

令和 4 年 4 月 1 日

明石市公営企業管理者 様

申請者 住所 ○○県○○市○○一丁目2番3号
○○ビル
氏名 ○○開発 株式会社
代表取締役 ○○ ○○



給 水 申 込 書

水道施設の工事負担金に関する規程第7条の規定により、下記のとおり必要書類添付の上申し込めます。

記

1. 申 込 場 所 明石市 ○○町○○字○○1234番地56号 他
2. 申 込 理 由 開発事業に伴う給配水管布設のため
3. 申 込 概 要

配水管等負担金該当		拡張改良負担金該当	
配水管 口径・延長	GX φ 100mm L=70.0m	計画戸数	戸
	GX φ 75mm L= 4.0m		
	PE φ 50mm L=19.0m		
その他水道施設	GX型仕切弁 φ 100mm N=2基 GX型仕切弁 φ 75mm N=1基	計画水量	m ³
	消火栓 φ 75mm N=1基 排泥弁 φ 40mm N=1基		
	給水管PP φ 50mm 1件 給水管PP φ 40mm 1件		
	給水管PP φ 20mm 13件		

4. 工事着工予定日 令和 4 年 5 月 9 日 予定
5. 工事完成予定日 令和 4 年 10 月 31 日 予定
6. 添 付 書 類 委任状、位置図、付近見取り図、給水計画平面図(配管割付図)、横断図、縦断図、構造図、その他詳細図等
現場体制表・緊急時連絡先一覧表
配管工資格証(耐震管)の写し、施工履歴
給水装置工事主任技術者資格証の写し
道路占用・使用許可書の写し、他企業施工通知回答書の写し ほか

委 任 状

令和 年 月 日

明石市公営企業管理者 様

申込者 住所

氏名 _____ 印

私儀、今般下記場所において給水工事を申込み、工事を施工するにあたり、給水工事の申込から給水の使用開始に至るまでの諸手続き及び工事施工並びに市納金（監督費等）の納付又は還付・追徴に関する一切の権限を下記指定工事業者に委任しますので、本書を提出いたします。

記

施 工 場 所	明石市
指 定 工 事 業 者	住 所 氏 名 _____ 印

※ 記入例

(文字は黒で)

委 任 状

令和 4 年 3 月 28 日

明石市公営企業管理者 様

申込者 住所 ○○県○○市○○一丁目2番3号
○○ビル4階

氏名 ○○開発 株式会社
代表取締役 ○○ ○○



私儀、今般下記場所において給水工事を申込み、工事を施工するにあたり、給水工事の申込から給水の使用開始に至るまでの諸手続き及び工事施工並びに市納金（監督費等）の納付又は還付・追徴に関する一切の権限を下記指定工事業者に委任しますので、本書を提出いたします。

記

施 工 場 所	明石市 ○○町○○字○○1234番地56号 他
指 定 工 事 業 者	住 所 ○○市○○二丁目3番4号 氏 名 ○○水道設備 株式会社 代表取締役 ○○ ○○



【開】様式第203号(第13条関係)

令和 年 月 日

明石市公営企業管理者 様

申請者 住所

氏名 印

工 事 監 督 依 頼 書

令和 年 月 日付けで承認通知のありました件について、下記のとおり施工したいので、工事監督を依頼いたします。

記

1. 依 頼 場 所 明石市

2. 工 事 概 要 配水管 口径・延長

その他水道施設

3. 工 事 着 工 予 定 日 令和 年 月 日 予定

4. 施 工 業 者

印

(下 請 施 工 業 者)

印

5. 工 事 監 督 費 支 払 者

印

6. 添 付 書 類 位置図、付近見取図、工程表、給配水管実施計画図(管割図)
使用材料承諾願、その他

※ 記入例

(文字は黒で)

令和 4 年 4 月 11 日

明石市公営企業管理者 様

申請者 住所 ○○県○○市○○一丁目2番3号
○○ビル4階
氏名 ○○開発 株式会社
代表取締役 ○○ ○○



工事監督依頼書

令和 4 年 4 月 8 日付けで承認通知のありました件について、下記のとおり施工したいので、工事監督を依頼いたします。

記

1. 依頼場所 明石市 ○○町○○字○○1234番地56号 他
2. 工事概要 配水管 口径・延長 GX φ 100mm L=70.0m、φ 75mm L= 4.0m
PE φ 50mm L=19.0m
その他水道施設 GX型仕切弁 φ 100mm N=2基、φ 75mm N=1基
消火栓 φ 75mm N=1基、排泥弁 φ 40mm N=1基
給水管PP φ 50mm 1件、給水管PP φ 40mm 1件
給水管PP φ 20mm 13件

3. 工事着工予定日 令和 4 年 5 月 9 日予定

4. 施工業者 ○○市○○二丁目3番4号
○○水道設備 株式会社
代表取締役 ○○ ○○



(下請施工業者)

印

5. 工事監督費支払者 ○○県○○市○○一丁目2番3号 ○○ビル4階
○○開発 株式会社
代表取締役 ○○ ○○



↑ 請求書及び領収書の宛名はこちらになります。

6. 添付書類 位置図、付近見取図、工程表、給配水管実施計画図(管割図)
使用材料承諾願、その他

令和 年 月 日

明石市公営企業管理者 様

申請者 住所

氏名 印

水道管等寄付採納願

このたび公道に布設した私方所有の水道管を下記のとおり貴水道局に寄付いたします。なお、受諾書の受理後をもって、貴水道局の維持管理とし、他に給水しても何ら異議はありません。

記

1. 水道管の布設場所

明石市 から
明石市 まで

水道管等の種類	口径	延長／基数
	mm	m
	mm	
	mm	
	mm	
	mm	
	mm	
	mm	
	mm	

2. 添付書類

- (1) 位置図
- (2) 竣工図面

※ 記入例

(文字は黒で)

令和 4 年 10 月 3 日

明石市公営企業管理者 様

申請者 住所 ○○県○○市○○一丁目2番3号
○○ビル4階

氏名 ○○開発 株式会社
代表取締役 ○○ ○○



水道管等寄付採納願

このたび公道に布設した私方所有の水道管を下記のとおり貴水道局に寄付いたします。なお、受諾書の受理後をもって、貴水道局の維持管理とし、他に給水しても何ら異議はありません。

記

1. 水道管の布設場所

明石市 ○○町○○字○○1234番地56号 から
明石市 ○○町○○字○○2345番地67号 まで

水道管等の種類	口 径	延 長 / 基 数
配水管 DGX-S	100 mm	69.3 m
〃 DGX-S	75 mm	4.5 m
〃 PE	50 mm	18.2 m
ソフトシール仕切弁 GX	100 mm	2 基
〃	75 mm	1 基
消火栓 (単口)	75 mm	1 基
排泥弁	40 mm	1 基
給水管	50 mm	1 件
給水管	40 mm	1 件
給水管	20 mm	13 件

2. 添 付 書 類

- (1) 位 置 図
- (2) 竣 工 図 面

令和 年 月 日

明石市公営企業管理者 様

申請者 住所

氏名 印

水道管等寄付採納願

標記の件について、下記位置指定道路等に埋設しております当方所有の水道管等を市水道局に寄付したいので、採納くださいますようお願いいたします。

なお、受諾書の受理をもって市水道局の所有とし、他に給水しても何ら異議申し立てはいたしません。

また、漏水修繕又は給水管工事等の場合には、当該道路を掘削し、工事することを承諾いたします。

記

1. 水道管の布設場所

明石市 から

明石市 まで

水道管等の種類	口径	延長／基数
	mm	m
	mm	
	mm	
	mm	
	mm	
	mm	

2. 添付書類

(1) 位置図

(2) 竣工図面

(3) 土地登記簿謄本

(4) 公図

工 事 日 報


令和 年 月 日 曜日 天候 /

工 事 名				使 用 材 料			
工 事 場 所	明石市			品 名	形 質	数 量	摘 要
設 計 延 長	φ	mm	m	φ	mm	m	
	φ	mm	m	φ	mm	m	
出 来 形 延 長	φ	mm	m	累 計		m	
	φ	mm	m	累 計		m	
	φ	mm	m	累 計		m	
	φ	mm	m	累 計		m	
工 事 概 要							
				課 長	係 長		
施 工 業 者							監 督 員
現 場 代 理 人	印						

工 事 日 報

令和 4 年 4 月 25 日 月曜日 天候 晴 1 / 1

※ 記入例
(おもて面の文字は黒で)

工 事 名	○○町○○字○○開発事業に伴う配水管布設工事		使 用 材 料			
			品 名	形 質	数 量	摘 要
工 事 場 所	明石市 ○○町○○字○○1234番地56号 他 地内					
設 計 延 長	φ 100 mm	70.0 m	φ 50 mm	19.0 m		
	φ 75 mm	4.0 m	φ mm	m		
出 来 形 延 長	φ mm	m	累 計	m		
	φ mm	m	累 計	m		
	φ mm	m	累 計	m		
	φ mm	m	累 計	m		
工 事 概 要						
着工前立会						
明石市水道局 : ○○、○○、○○						
○○水道設備㈱ : ○○						
施 工 業 者	○○水道設備 株式会社		課 長	係 長		監 督 員
現 場 代 理 人	○○ ○○ 					

工 事 日 報

令和 4 年 5 月 9 日 月曜日 天候 晴 1 / 1

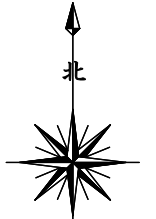
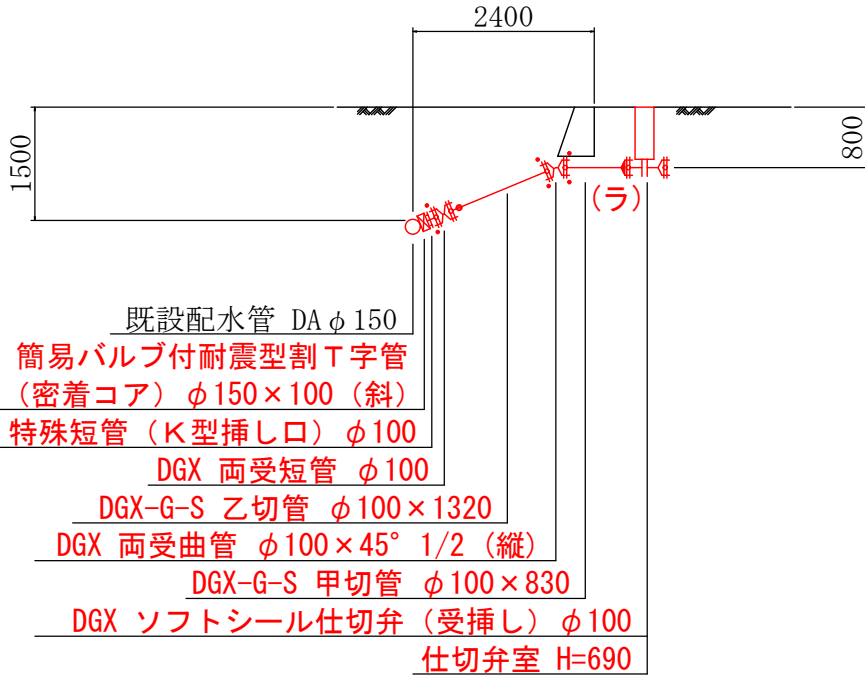
※ 記入例
(おもて面の文字は黒で)

工 事 名	〇〇町〇〇字〇〇開発事業に伴う配水管布設工事		使 用 材 料				
	品 名	形 質	数 量	摘 要			
工 事 場 所	明石市 〇〇町〇〇字〇〇1234番地56号 他 地内						
	設計延長	φ 100 mm 70.0 m	φ 50 mm 19.0 m	簡易バルブ付耐震型割T字管 (密着コア)	φ 150×φ 100	1 基	〇〇〇〇(株)
出 来 形 延 長		φ 75 mm 4.0 m	φ mm m	特殊短管 (K形挿し口)	φ 100	1 個	
		φ 100 mm 12.320 m	累計 12.320 m	DGX 両受短管	φ 100	1 個	
		φ mm m	累計 m	DGX-G-S 乙切管	φ 100×1320	1 本	
		φ mm m	累計 m	DGX-G-S 甲切管	φ 100× 830	1 本	
工 事 概 要		φ mm m	累計 m	GX形 ソフトシル仕切弁 (受挿)	φ 100	1 基	(株)〇〇〇〇
	配水管布設工 φ 100mm L=12.320m			仕切弁室 (円形 1号)	蓋 : 明石V型	1 組	
簡易バルブ付耐震型割T字管 φ 150×φ 100				DGX-S 直管	φ 100×4000	2 本	
				DGX-G-S 乙切管	φ 100×1000	1 本	
				DGX 両受曲管	φ 100×22° (1/2)	2 個	
				GX形 接合セット	φ 100	3 組	
				GX形 ライナー	φ 100	2 組	
				GX形 G-Link セット	φ 100	4 組	
施 工 業 者	〇〇水道設備 株式会社		課 長	係 長			監督員
現 場 代 理 人	〇〇 〇〇						



5月9日(月)

a-a'断面 S=1:100



S=1:300

DGX 両受曲管 φ100×22° 1/2 (横)
 DGX-G-S 乙切管 φ100×1000

DGX ソフトシール仕切弁 (受挿し) φ100
 仕切弁室 H=690

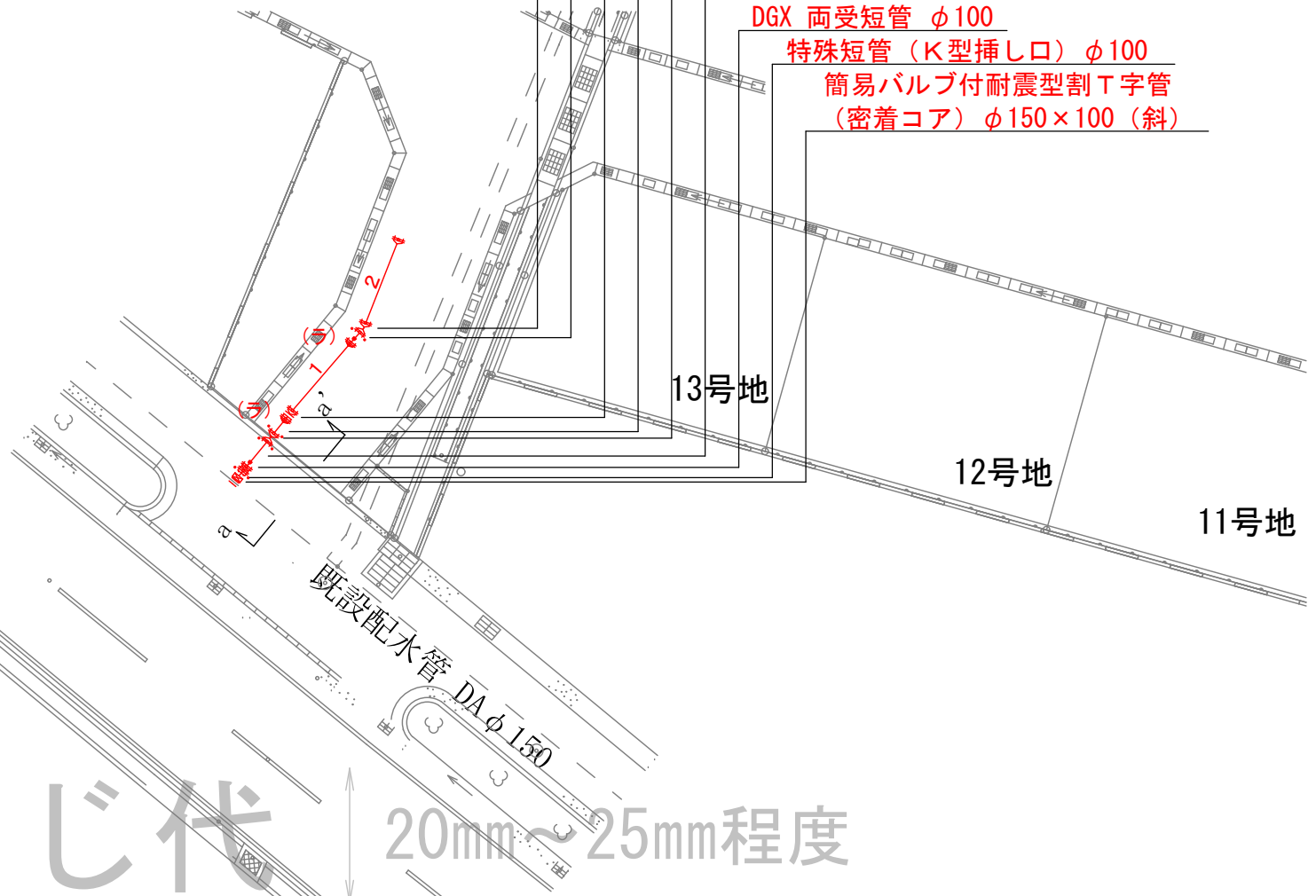
DGX-G-S 甲切管 φ100×830

DGX 両受曲管 φ100×22° 1/2 (縦)

DGX-G-S 乙切管 φ100×1320

DGX 両受短管 φ100

特殊短管 (K型挿し口) φ100
 簡易バルブ付耐震型割T字管 (密着コア) φ150×100 (斜)



とじ代

工 事 日 報

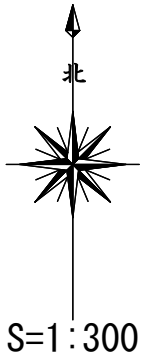
令和 4 年 5 月 10 日 火曜日 天候 曇り
時々雨 1 / 1

※ 記入例
(おもて面の文字は黒で)

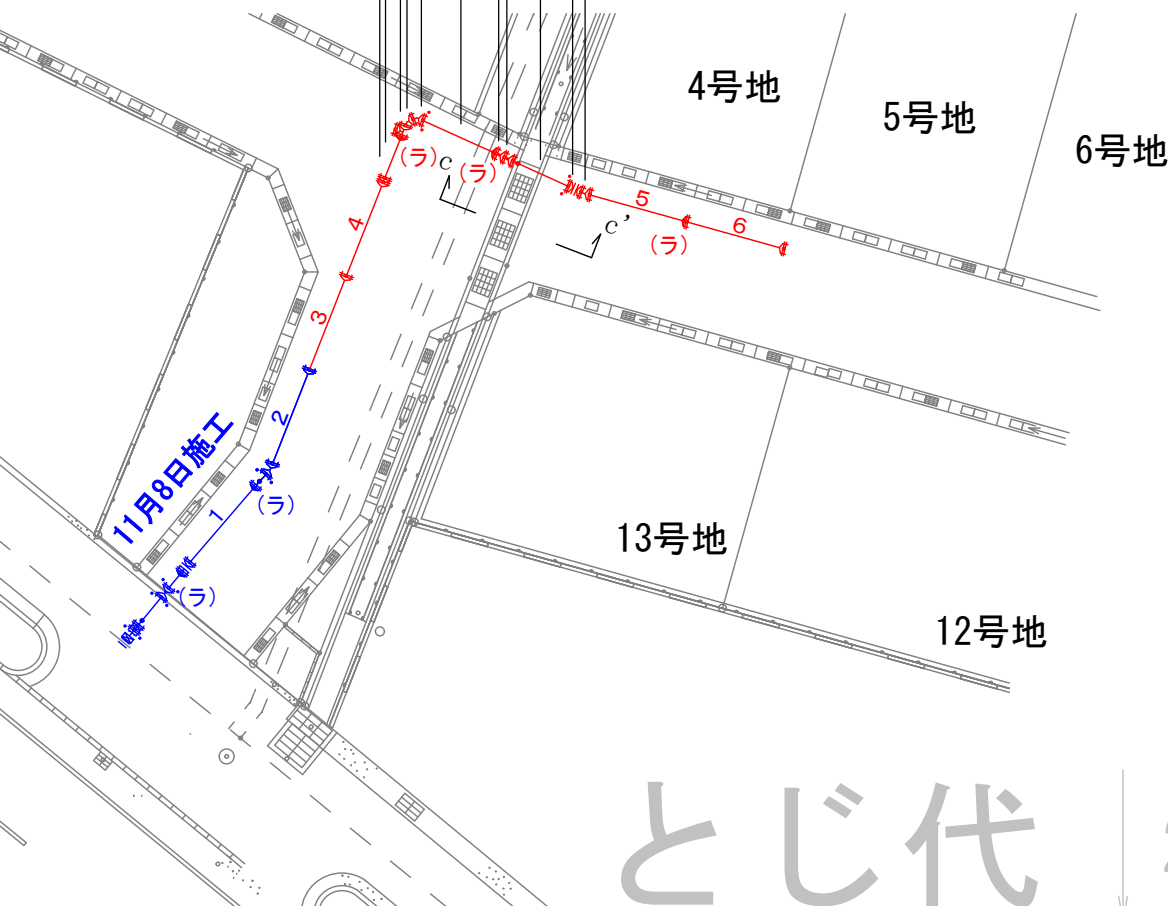
工 事 名	○○町○○字○○開発事業に伴う配水管布設工事			使 用 材 料				
	工 事 場 所	明石市 ○○町○○字○○1234番地56号 他 地内			品 名	形 質	数 量	摘 要
設 計 延 長	φ 100 mm	70.0 m	φ 50 mm	19.0 m	DGX-S 直管	φ 100×4000	4 本	
	φ 75 mm	4.0 m	φ mm	m	DGX-P-S 甲切管	φ 100×1800	1 本	
出 来 形 延 長	φ 100 mm	26.552 m	累 計	38.872 m	DGX P-Link	φ 100	1 本	
	φ mm	m	累 計	m	DGX 二受T字管	φ 100×φ 75	1 本	
	φ mm	m	累 計	m	DGX 曲管	φ 100×45°	2 本	
	φ mm	m	累 計	m	DGX-G-S 甲切管	φ 100×3200	1 本	
工 事 概 要					DGX 曲管	φ 100×22° (1/2)	2 本	
配水管布設工 φ 100mm L=26.552m					DGX-G-S 乙切管	φ 100×2800	1 本	
					GX形 ソフトシル仕切弁(両受)	φ 100	1 基	(株)○○○○
					仕切弁室 (円形 1号)	蓋: 明石V型	1 基	
					DGX 曲管	φ 100×11° (1/4)	1 本	
					GX形 接合セット	φ 100	6 組	
					GX形 ライナー	φ 100	3 組	
					GX形 G-Link セット	φ 100	2 組	
施 工 業 者					課 長	係 長		監督員
○○水道設備 株式会社								
現 場 代 理 人								
○○ ○○								



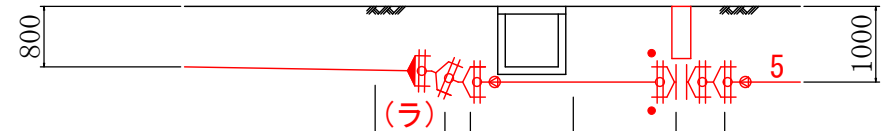
5月10日(火)



- GX形 P-LINK φ100
- DGX-P-S 甲切管 100×1800
- DGX 二受T字管 φ100×φ75
- DGX 曲管φ100×45° (横)
- DGX 曲管φ100×45° (横)
- DGX-G-S 甲切管 φ100×3200
- DGX 曲管φ100×22° 1/2 (縦)
- DGX 曲管φ100×22° 1/2 (縦)
- DGX-G-S 乙切管 φ100×2800
- DGX ソフトシル仕切弁(両受) φ100
- 仕切弁室 H=790
- DGX 曲管φ100×11° 1/4 (横)



c-c' 断面 S=1:100



- DGX-G-S 甲切管 φ100×3200
- DGX 曲管 φ100×22° 1/2 (縦)
- DGX 曲管 φ100×22° 1/2 (縦)
- DGX-G-S 乙切管 φ100×2800
- DGX ソフトシル仕切弁(両受) φ100
- 仕切弁室 H=790
- DGX 両受曲管 φ100×11° 1/4 (横)

とじ代

20mm~25mm程度

工 事 日 報

令和 4 年 5 月 11 日 水曜日 天候 曇り時々晴 1 / 1

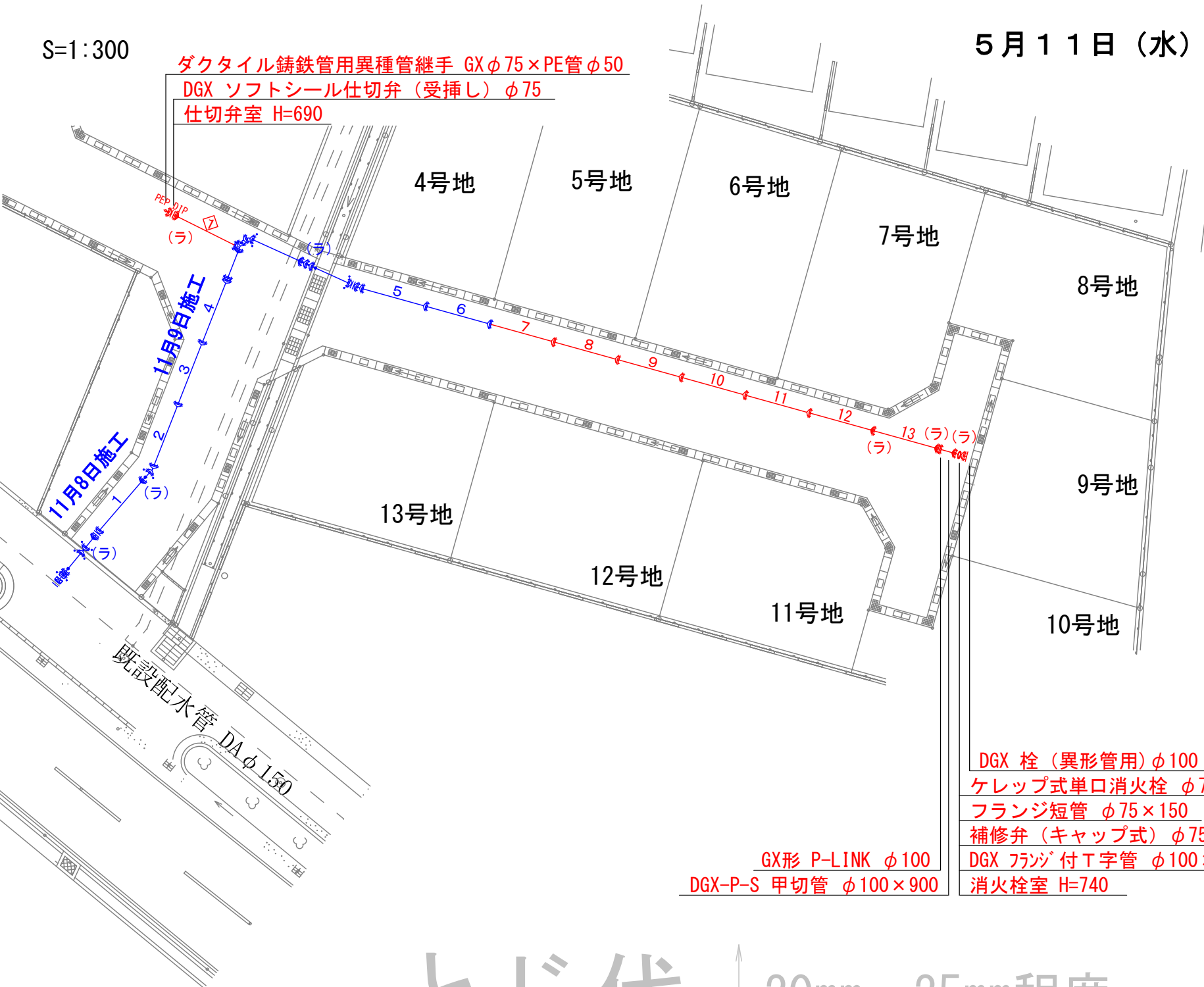
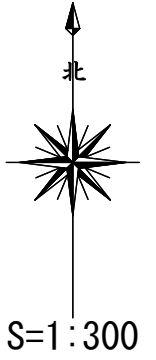
※ 記入例
(おもて面の文字は黒で)

工 事 名	〇〇町〇〇字〇〇開発事業に伴う配水管布設工事				使 用 材 料			
	工事場所				品 名	形 質	数 量	摘 要
設 計 延 長	φ 100 mm	70.0 m	φ 50 mm	19.0 m	DGX-S 直管	φ 100×4000	7 本	
	φ 75 mm	4.0 m	φ	mm	DGX-P-S 甲切管	φ 100× 900	1 本	
出 来 形 延 長	φ 100 mm	29.520 m	累 計	68.392 m	DGX P-Link	φ 100	1 組	
	φ 75 mm	4.790 m	累 計	4.790 m	DGX F付T字管	φ 100× φ 75	1 個	
	φ 50 mm	0.390 m	累 計	0.390 m	キャップ式補修弁	φ 75 × 100	1 基	(株)△△△△
	φ	mm	累 計	m	両フランジ短管	φ 75 × 150	1 個	
工 事 概 要					ケレップ式消火栓 (単口・浅埋形)	φ 75 × φ 65	1 基	(株)△△△△
配水管布設工	φ 100mm	L=29.520m			消火栓室 (円形 3号)	蓋: 明石IV型・丸型 車道用・耐スリップ仕様	1 組	
配水管布設工	φ 75mm	L=4.790m			DGX 栓 (異形管用)	φ 100	1 個	
配水管布設工	φ 50mm	L=0.390m			GX形 ライナー	φ 100	3 組	
					DGX-S 直管	φ 75 × 4000	1 本	
					GX形 ソフトシル仕切弁 (受挿)	φ 75	1 基	(株)〇〇〇〇
					仕切弁室 (円形 1号)	蓋: 明石V型	1 組	
					GX形 ライナー	φ 75	1 組	
					GXゲタール铸铁管用異種管継手	GX φ 75×PE φ 50	1 個	
					GX形 接合セット	φ 75	2 組	
					フランジ接合補強具 (LSP)	φ 75	3 組	
					課 長	係 長		監督員
施 工 業 者	〇〇水道設備 株式会社							
現 場 代 理 人	〇〇 〇〇 							

S=1:300

5月11日(水)

ダクタイトル鑄鉄管用異種管継手 GXφ75×PE管φ50
DGX ソフトシール仕切弁(受挿し) φ75
仕切弁室 H=690



- DGX 栓(異形管用) φ100
- ケレップ式単口消火栓 φ75×65
- フランジ短管 φ75×150
- 補修弁(キャップ式) φ75×100
- DGX フランジ付T字管 φ100×φ75
- 消火栓室 H=740

- GX形 P-LINK φ100
- DGX-P-S 甲切管 φ100×900

とじ代 20mm~25mm程度

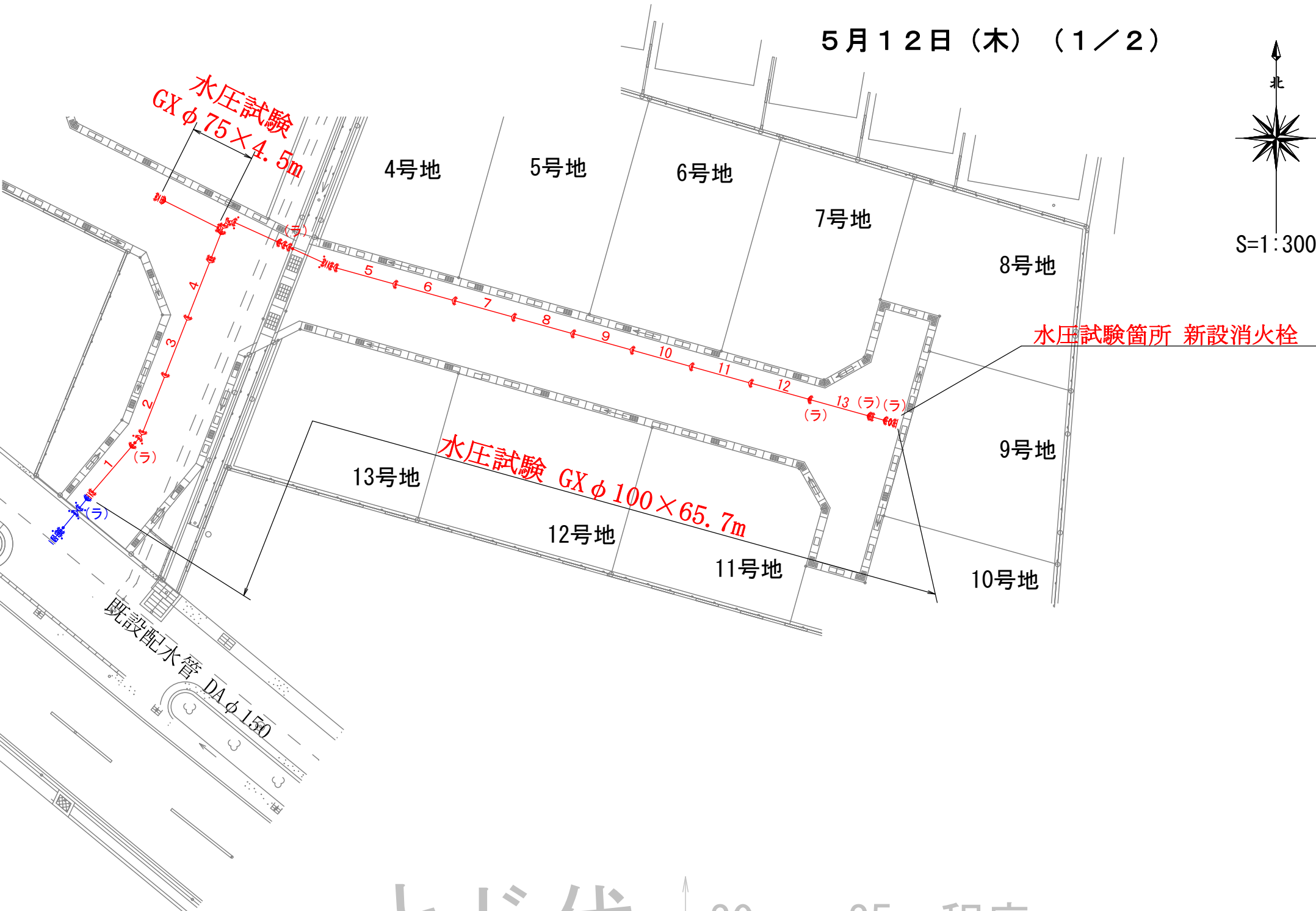
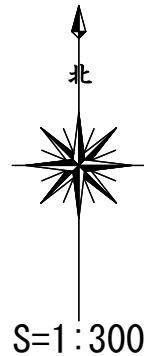
工 事 日 報

令和 4 年 5 月 12 日 木曜日 天候 晴 1 / 2

※ 記入例
(おもて面の文字は黒で)

工 事 名	〇〇町〇〇字〇〇開発事業に伴う配水管布設工事				使 用 材 料			
	工事場所				品 名	形 質	数 量	摘 要
設 計 延 長	φ 100 mm	70.0 m	φ 50 mm	19.0 m				
	φ 75 mm	4.0 m	φ	mm				
出 来 形 延 長	φ 100 mm	0.000 m	累 計	68.392 m				
	φ 75 mm	0.000 m	累 計	4.790 m				
	φ 50 mm	0.000 m	累 計	0.390 m				
	φ	mm	累 計	m				
工 事 概 要								
水圧試験								
GX φ 100mm L=65.7m、GX φ 75mm L=4.0m								
常圧 0.44MPa 10:15								
加圧 0.75MPa 10:25								
加圧 0.75MPa 10:55								
残塩 0.4mg/l Ph 7.0								
立会人：明石市水道局 〇〇係長								
施 工 業 者	〇〇水道設備 株式会社							監督員
現 場 代 理 人	〇〇 〇〇							





水圧試験
GX φ75×4.5m

4号地

5号地

6号地

7号地

8号地

水圧試験箇所 新設消火栓

9号地

13号地

水圧試験 GX φ100×65.7m

12号地

11号地

10号地

既設配水管 DA φ150

とじ代

20mm~25mm程度

工 事 日 報

令和 4 年 5 月 12 日 木曜日 天候 晴 2 / 2

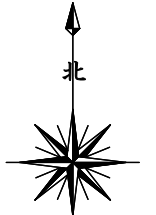
※ 記入例
(おもて面の文字は黒で)

工 事 名	〇〇町〇〇字〇〇開発事業に伴う配水管布設工事		使 用 材 料			
	明石市 〇〇町〇〇字〇〇1234番地56号 他 地内		品 名	形 質	数 量	摘 要
設 計 延 長	φ 100 mm 70.0 m	φ 50 mm 19.0 m	EFソケット	φ 50	1 組	
	φ 75 mm 4.0 m	φ mm m	PE 直管	φ 50 × 5000	3 本	
出 来 形 延 長	φ 100 mm 0.000 m	累 計 68.392 m	PE 甲切管	φ 50 × 2800	1 本	
	φ 75 mm 0.000 m	累 計 4.790 m	異種管継手(PE×HIVP)	φ 50	1 個	
	φ 50 mm 18.190 m	累 計 18.580 m	HIVP	φ 50 × 300	1 本	
	φ mm m	累 計 m m	HI 異径ソケット	φ 50 × φ 40	1 個	
工 事 概 要			HIVP	φ 40 × 300	1 本	
配水管布設工	φ 50mm L=18.501m		排泥弁	φ 40	1 基	◇◇◇◇(株)
給水管切替工	φ 100mm×φ 50mm 1箇所、φ 100mm×φ 40mm 1箇所		排泥弁室(明石市型)	H=470	1 組	
給水管撤去工	φ 50mm×26.7m、φ 40mm×26.6m		ロケーティングワイヤー	φ 4.4	18.7 m	
施 工 業 者	〇〇水道設備 株式会社		課 長	係 長		監 督 員
現 場 代 理 人	〇〇 〇〇					

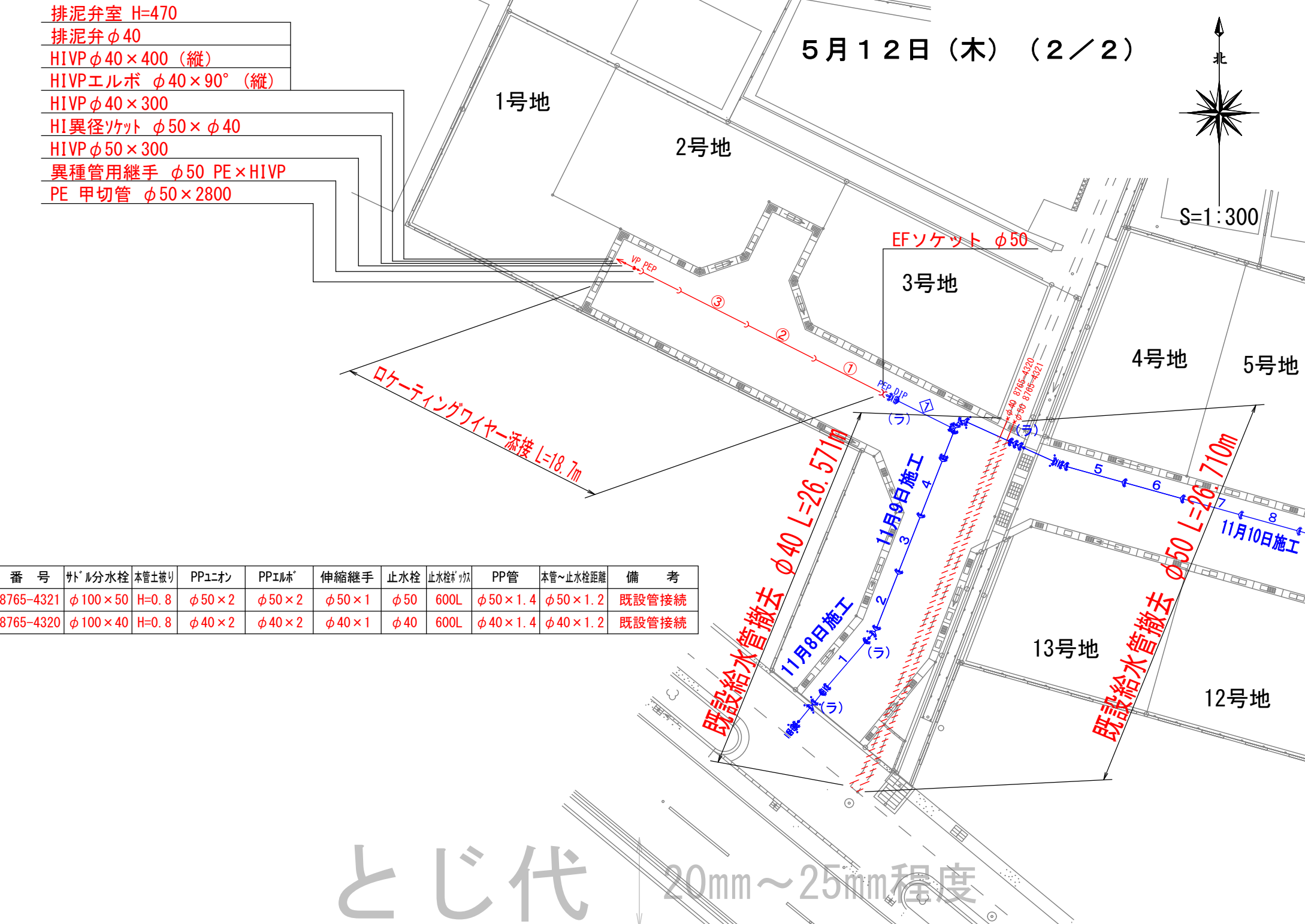


- 排泥弁室 H=470
- 排泥弁 φ40
- HIVP φ40×400 (縦)
- HIVPエルボ φ40×90° (縦)
- HIVP φ40×300
- HI異径ワット φ50×φ40
- HIVP φ50×300
- 異種管用継手 φ50 PE×HIVP
- PE 甲切管 φ50×2800

5月12日(木) (2/2)



S=1:300



番号	サドル分水栓	本管土被り	PPユニオン	PPエルボ	伸縮継手	止水栓	止水栓ワッパ	PP管	本管~止水栓距離	備考
8765-4321	φ100×50	H=0.8	φ50×2	φ50×2	φ50×1	φ50	600L	φ50×1.4	φ50×1.2	既設管接続
8765-4320	φ100×40	H=0.8	φ40×2	φ40×2	φ40×1	φ40	600L	φ40×1.4	φ40×1.2	既設管接続

とじ代

20mm~25mm程度

工 事 日 報

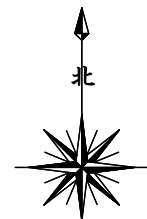
令和 4 年 5 月 13 日 金曜日 天候 晴 1 / 2

※ 記入例
(おもて面の文字は黒で)

工 事 名	〇〇町〇〇字〇〇開発事業に伴う配水管布設工事		使 用 材 料						
	品 名	形 質	数 量	摘 要					
工 事 場 所	明石市 〇〇町〇〇字〇〇1234番地56号 他 地内								
設 計 延 長	φ 100 mm	70.0 m	φ 50 mm	19.0 m					
	φ 75 mm	4.0 m	φ	mm	m				
出 来 形 延 長	φ 100 mm	0.000 m	累 計	68.392 m					
	φ 75 mm	0.000 m	累 計	4.790 m					
	φ 50 mm	0.000 m	累 計	18.580 m					
	φ	mm	累 計	m					
工 事 概 要									
水圧試験									
PE φ 50mm L=18.2m									
常圧 0.45MPa 10:00									
加圧 0.75MPa 10:10									
加圧 0.75MPa 10:40									
残塩 0.4mg/ℓ Ph 7.0									
立会人 : 明石市水道局 〇〇係長									
			課 長	係 長					監 督 員
施 工 業 者	〇〇水道設備 株式会社								
現 場 代 理 人	〇〇 〇〇								



5月13日(金) (1/2)

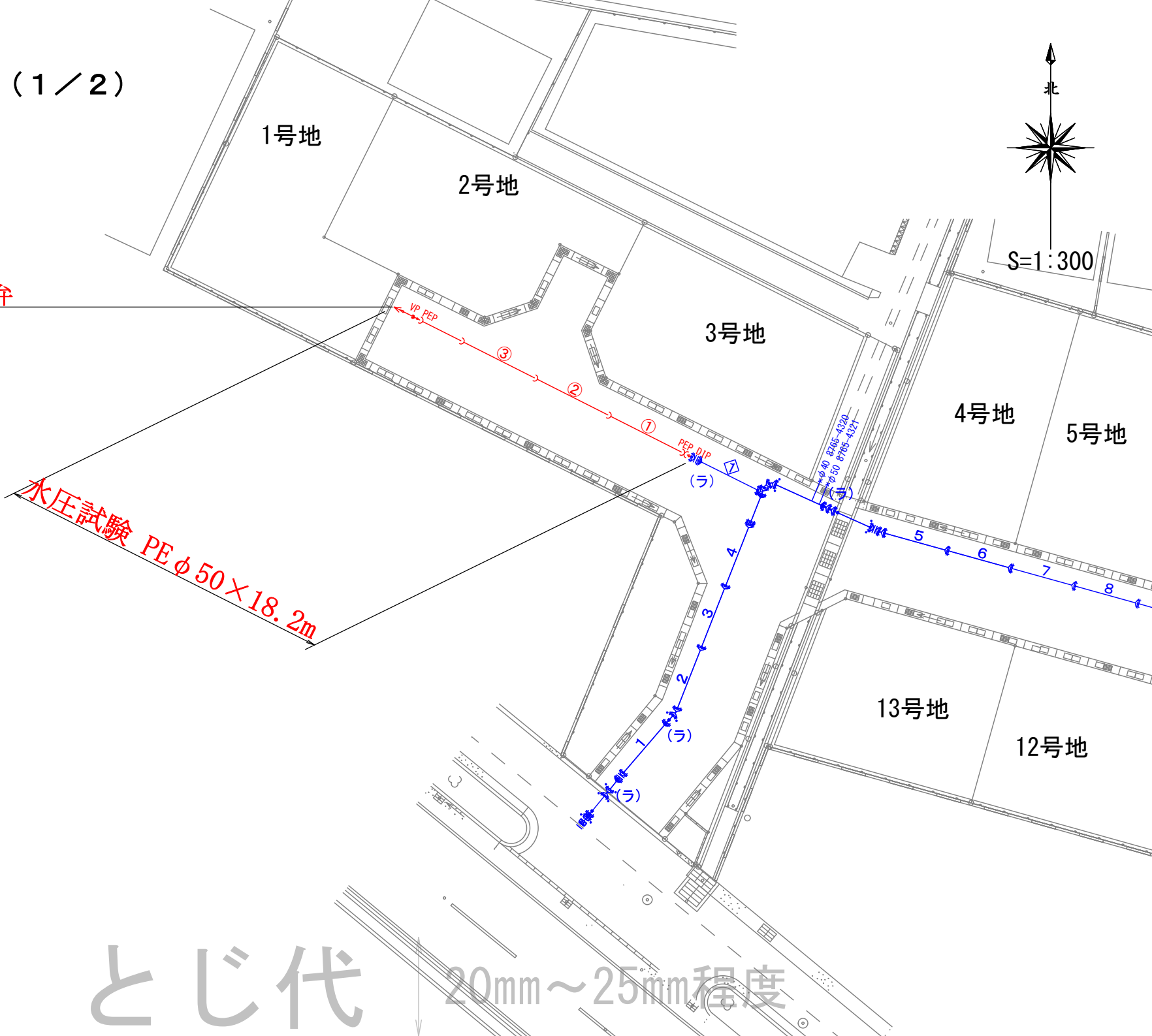


S=1:300

水圧試験箇所 新設排泥弁

水圧試験 PE φ50×18.2m

とじ代 20mm~25mm程度



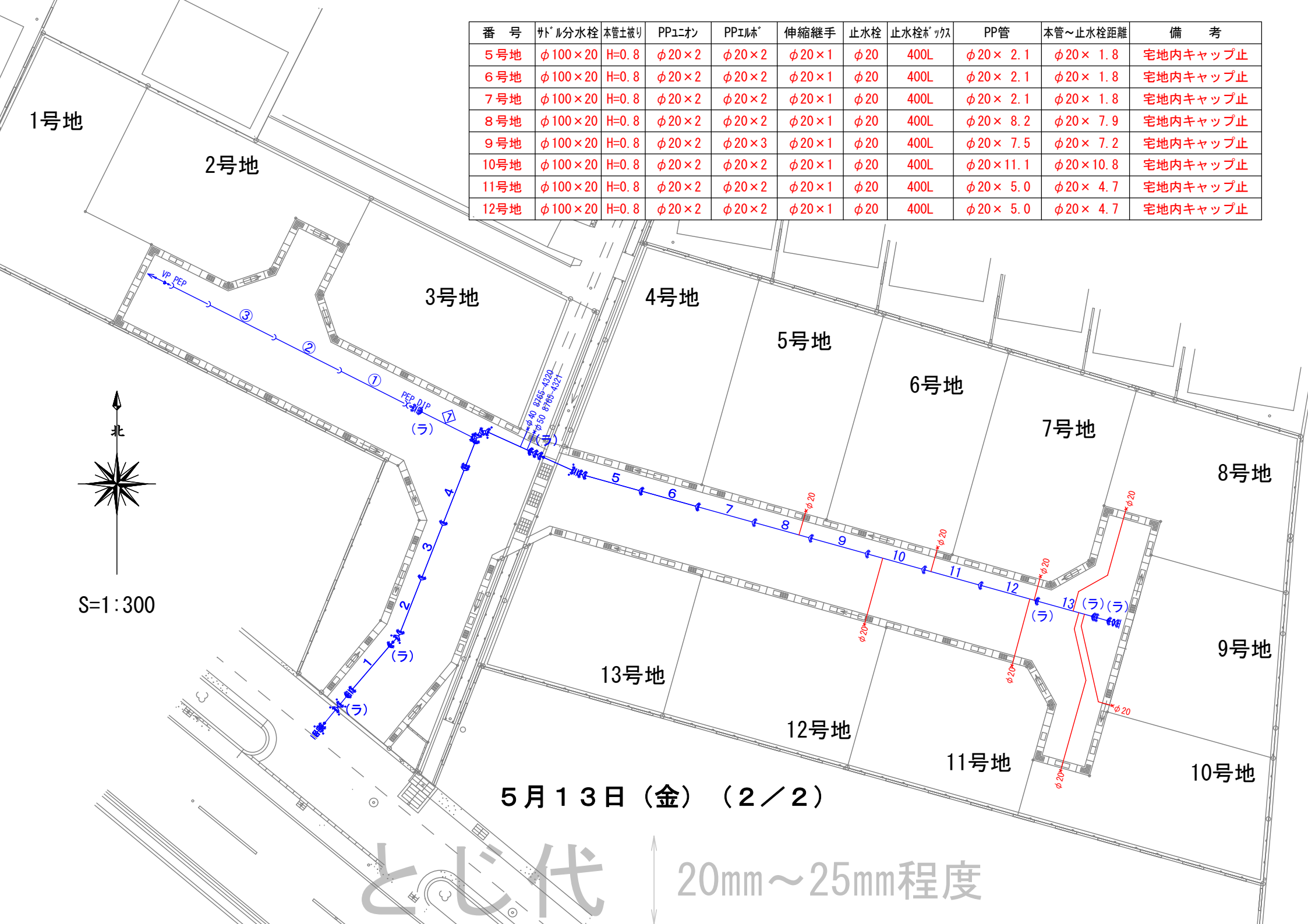
工 事 日 報

令和 4 年 5 月 13 日 金曜日 天候 晴 2 / 2

※ 記入例
(おもて面の文字は黒で)

工 事 名	〇〇町〇〇字〇〇開発事業に伴う配水管布設工事		使 用 材 料			
	明石市 〇〇町〇〇字〇〇1234番地56号 他 地内		品 名	形 質	数 量	摘 要
設 計 延 長	φ 100 mm	70.0 m	φ 50 mm	19.0 m		
	φ 75 mm	4.0 m	φ	mm		
出 来 形 延 長	φ 100 mm	0.000 m	累 計	68.392 m		
	φ 75 mm	0.000 m	累 計	4.790 m		
	φ 50 mm	0.000 m	累 計	18.580 m		
	φ	mm	累 計	m		
工 事 概 要						
給水管布設工 φ100mm×φ20mm 8箇所						
課 長 係 長 監 督 員						
施 工 業 者	〇〇水道設備 株式会社					
現 場 代 理 人	〇〇 〇〇 					

番号	サドル分水栓	本管土被り	PPユニオン	PPエルブ	伸縮継手	止水栓	止水栓ボックス	PP管	本管~止水栓距離	備考
5号地	φ100×20	H=0.8	φ20×2	φ20×2	φ20×1	φ20	400L	φ20×2.1	φ20×1.8	宅地内キャップ止
6号地	φ100×20	H=0.8	φ20×2	φ20×2	φ20×1	φ20	400L	φ20×2.1	φ20×1.8	宅地内キャップ止
7号地	φ100×20	H=0.8	φ20×2	φ20×2	φ20×1	φ20	400L	φ20×2.1	φ20×1.8	宅地内キャップ止
8号地	φ100×20	H=0.8	φ20×2	φ20×2	φ20×1	φ20	400L	φ20×8.2	φ20×7.9	宅地内キャップ止
9号地	φ100×20	H=0.8	φ20×2	φ20×3	φ20×1	φ20	400L	φ20×7.5	φ20×7.2	宅地内キャップ止
10号地	φ100×20	H=0.8	φ20×2	φ20×2	φ20×1	φ20	400L	φ20×11.1	φ20×10.8	宅地内キャップ止
11号地	φ100×20	H=0.8	φ20×2	φ20×2	φ20×1	φ20	400L	φ20×5.0	φ20×4.7	宅地内キャップ止
12号地	φ100×20	H=0.8	φ20×2	φ20×2	φ20×1	φ20	400L	φ20×5.0	φ20×4.7	宅地内キャップ止



北
S=1:300

5月13日(金) (2/2)

とじ代 20mm~25mm程度

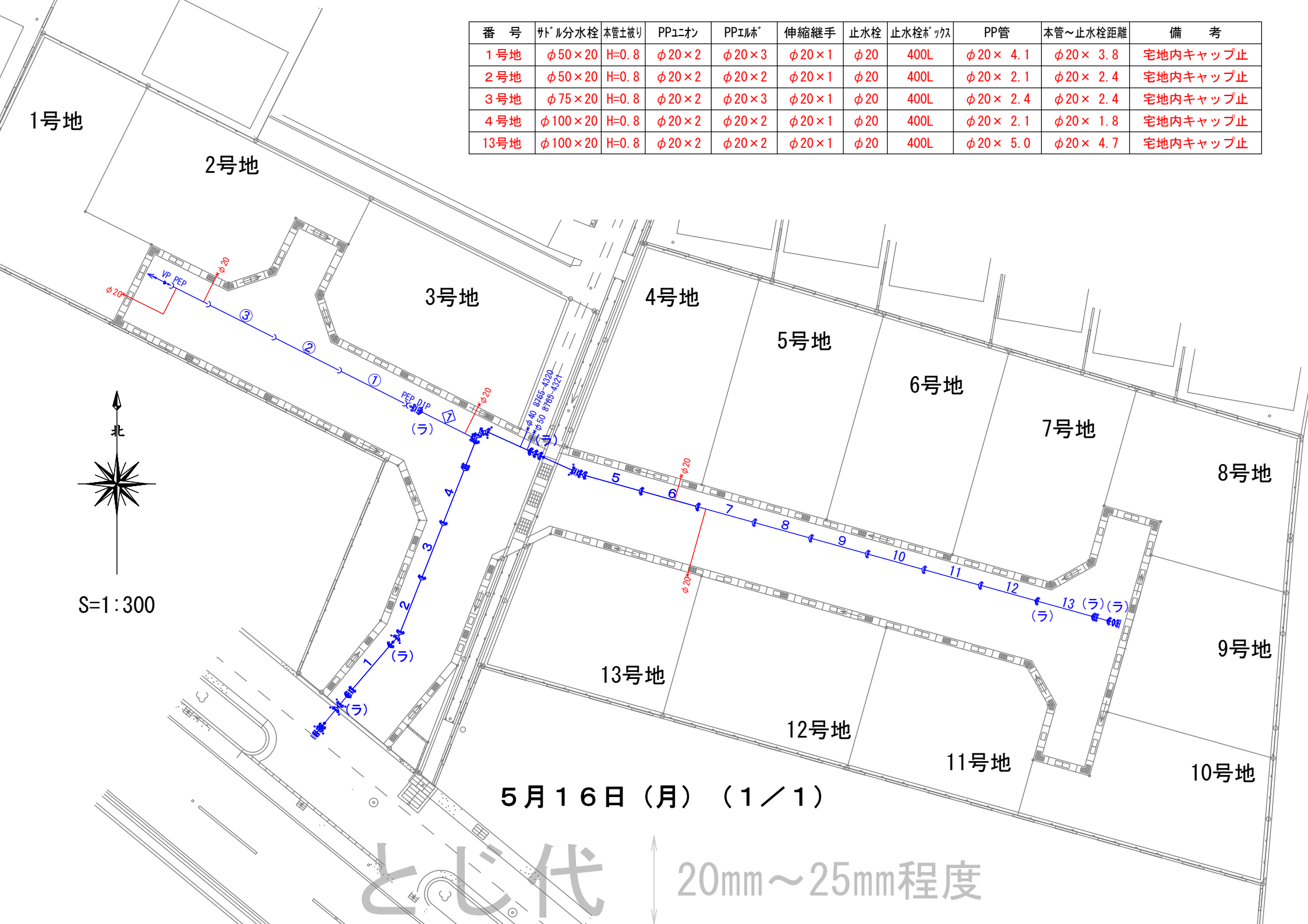
工 事 日 報

令和 4 年 5 月 16 日 月曜日 天候 曇り 1 / 1

※ 記入例
(おもて面の文字は黒で)

工 事 名	〇〇町〇〇字〇〇開発事業に伴う配水管布設工事				使 用 材 料			
	工 事 場 所	明石市 〇〇町〇〇字〇〇1234番地56号 他 地内				品 名	形 質	数 量
設 計 延 長		φ	100 mm	70.0 m	φ	50 mm	19.0 m	
	φ	75 mm	4.0 m	φ	mm	m		
出 来 形 延 長	φ	100 mm	0.000 m	累 計	68.392 m			
	φ	75 mm	0.000 m	累 計	4.790 m			
	φ	50 mm	0.000 m	累 計	18.580 m			
	φ	mm	m	累 計	m			
工 事 概 要								
給水管布設工 φ100mm×φ20mm 2箇所								
φ75mm × φ20mm 1箇所								
φ50mm × φ20mm 2箇所								
施 工 業 者 〇〇水道設備 株式会社					課 長	係 長		監 督 員
現 場 代 理 人 〇〇 〇〇 印								


番号	サドル分水栓	本管土被り	PPユニオン	PPエルブ	伸縮継手	止水栓	止水栓ボックス	PP管	本管～止水栓距離	備考
1号地	φ50×20	H=0.8	φ20×2	φ20×3	φ20×1	φ20	400L	φ20×4.1	φ20×3.8	宅地内キャップ止
2号地	φ50×20	H=0.8	φ20×2	φ20×2	φ20×1	φ20	400L	φ20×2.1	φ20×2.4	宅地内キャップ止
3号地	φ75×20	H=0.8	φ20×2	φ20×3	φ20×1	φ20	400L	φ20×2.4	φ20×2.4	宅地内キャップ止
4号地	φ100×20	H=0.8	φ20×2	φ20×2	φ20×1	φ20	400L	φ20×2.1	φ20×1.8	宅地内キャップ止
13号地	φ100×20	H=0.8	φ20×2	φ20×2	φ20×1	φ20	400L	φ20×5.0	φ20×4.7	宅地内キャップ止

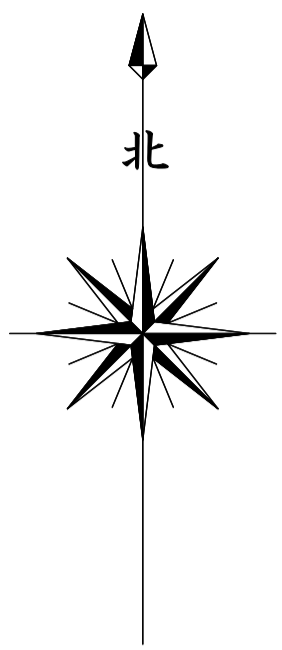


工 事 日 報

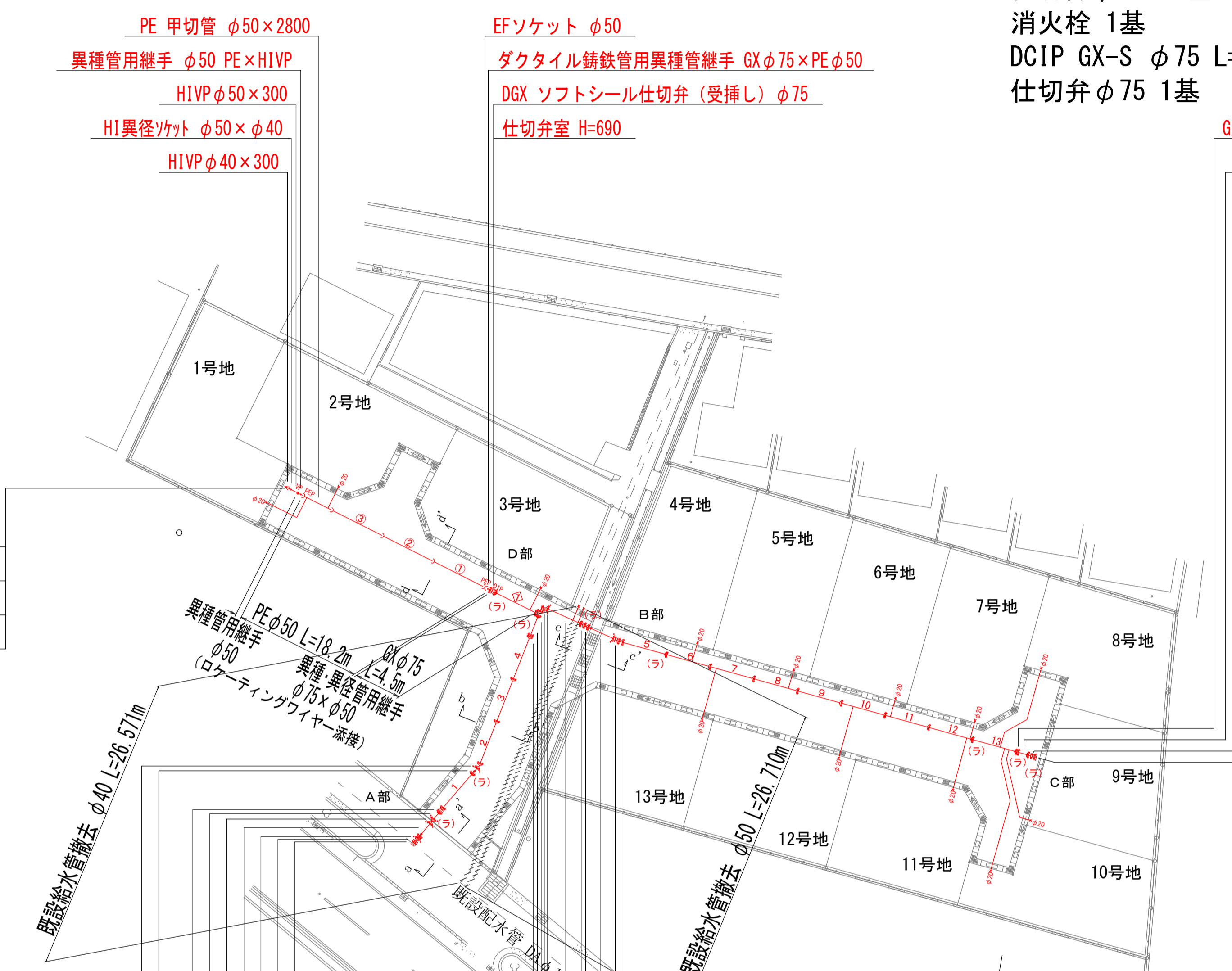
令和 年 月 日 曜日 天候 /

※ 記入例
(おもて面の文字は黒で)

工 事 名	〇〇町〇〇字〇〇開発事業に伴う配水管布設工事		使 用 材 料			
	明石市 〇〇町〇〇字〇〇1234番地56号 他 地内		品 名	形 質	数 量	摘 要
設 計 延 長	φ 100 mm	70.0 m	φ 50 mm	19.0 m		
	φ 75 mm	4.0 m	φ mm	m		
出 来 形 延 長	φ 100 mm	0.000 m	累 計	68.392 m		
	φ 75 mm	0.000 m	累 計	4.790 m		
	φ 50 mm	0.000 m	累 計	18.580 m		
	φ mm	m	累 計	m		
工 事 概 要						
日付、天候、工事概要、 使用材料が書かれていない 日報を、3部提出すること。						
施 工 業 者	〇〇水道設備 株式会社		課 長	係 長		監 督 員
現 場 代 理 人	〇〇 〇〇 					



配水管平面図 S=1:300

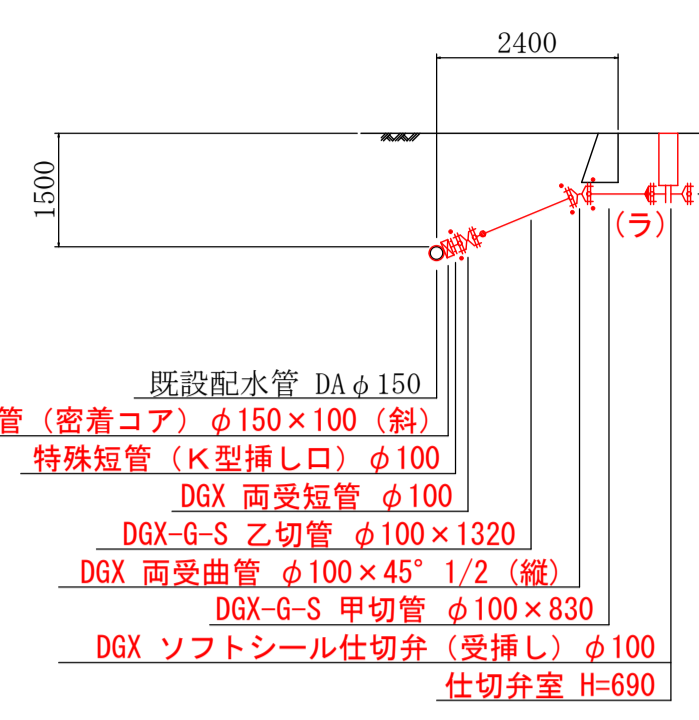


DCIP GX-S φ100 L=68.3m
仕切弁 φ100 2基
消火栓 1基
DCIP GX-S φ75 L=4.9m
仕切弁 φ75 1基

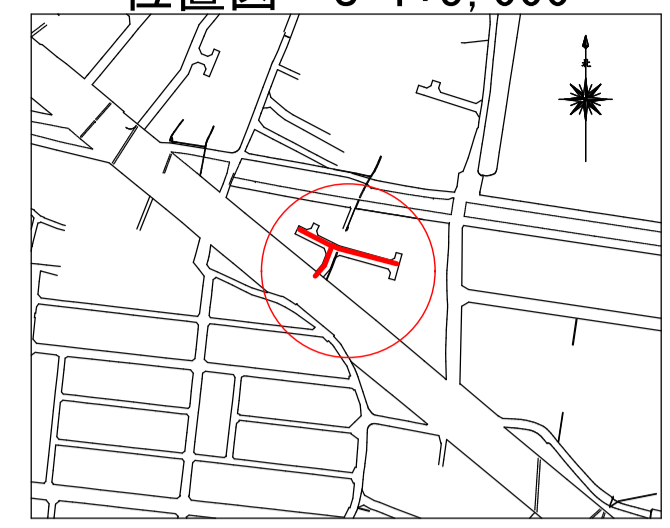
PE φ50 L=18.2m
HIVP φ50 L=0.3m
HIVP φ40 L=0.3m
排泥弁 φ40 1基

GX形 P-LINK φ100
DGX-P-S 甲切管 φ100×900
ケレップ式単口消火栓 φ75×65
フランジ短管 φ75×150
補修弁(キャップ式) φ75×100
DGX フラジ付T字管 φ100×φ75
消火栓室 H=740
DGX 栓(異形管用) φ100

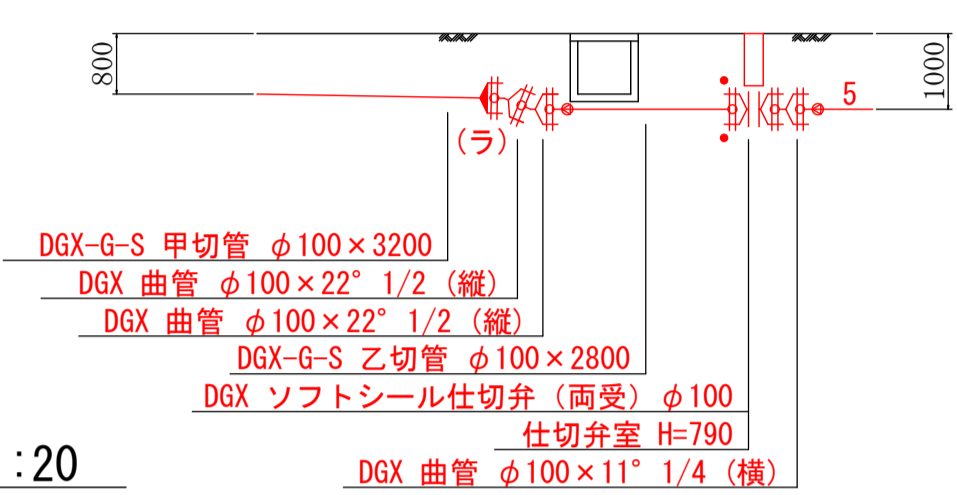
a-a' 断面 S=1:100



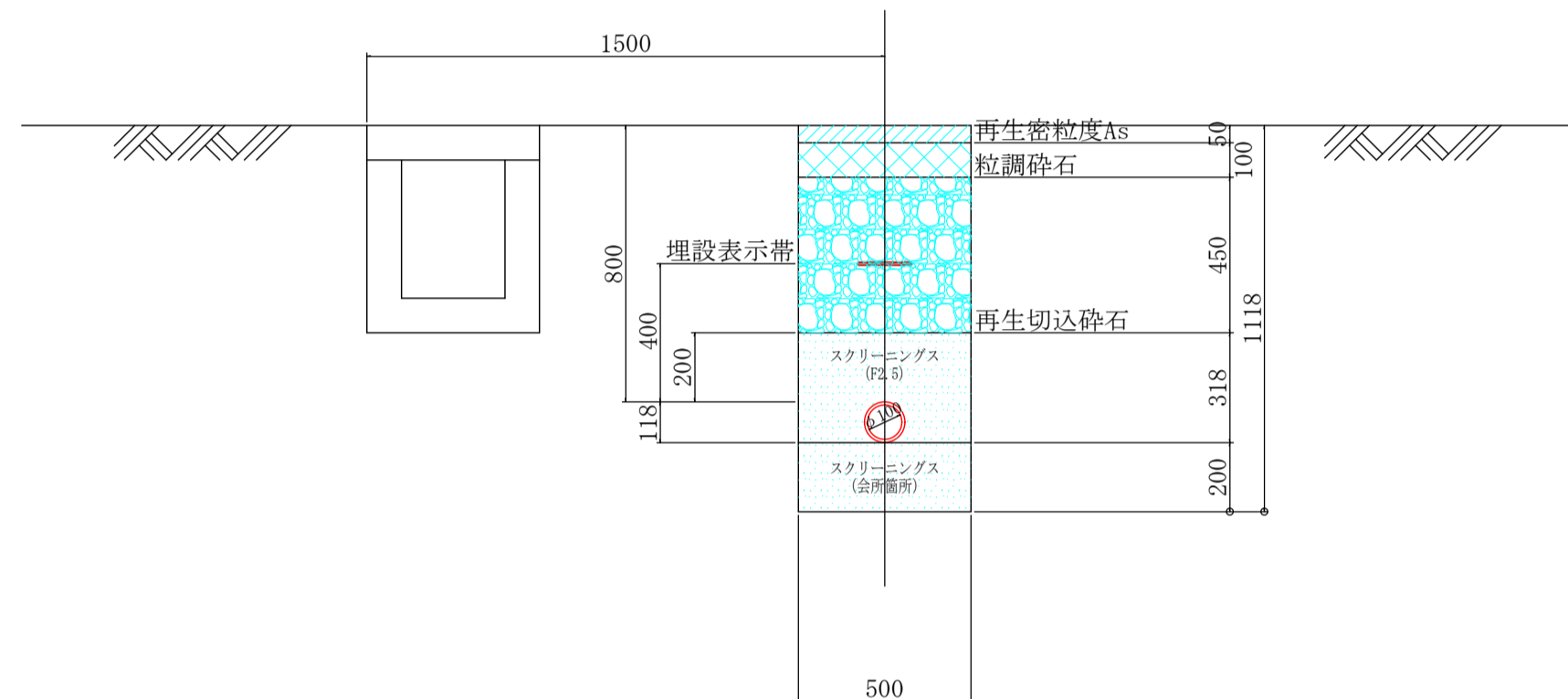
位置図 S=1:5,000



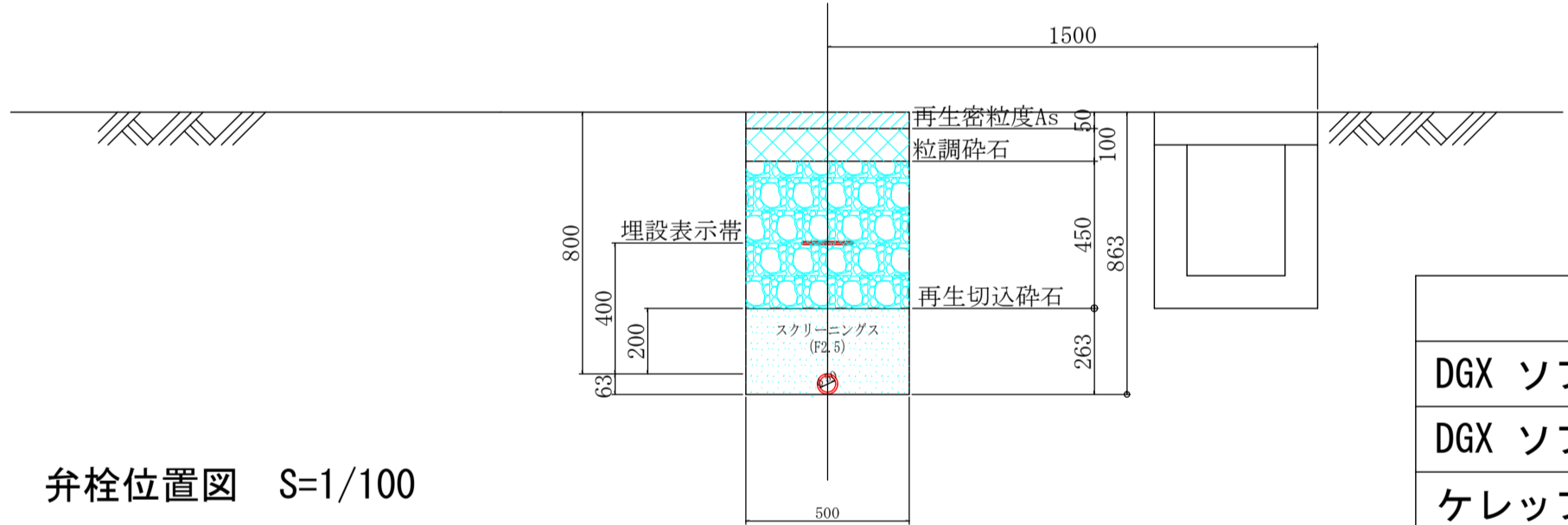
c-c' 断面 S=1:100



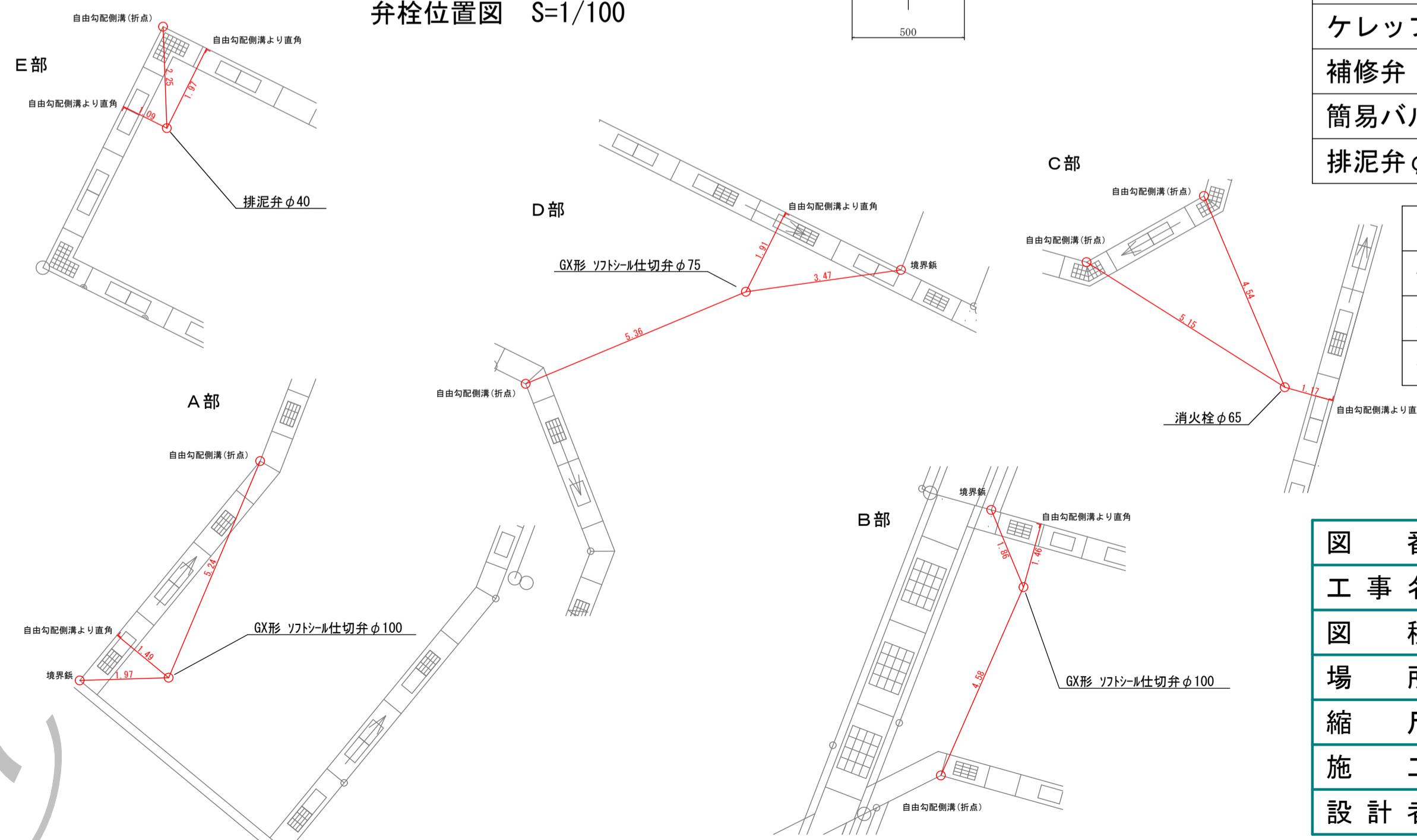
b-b' 断面 S=1:20



d-d' 断面 S=1:20



弁栓位置図 S=1/100



製品名	製造業者名
DGX ソフトシール仕切弁(受挿し)	株〇〇〇〇
DGX ソフトシール仕切弁(両受け)	株〇〇〇〇
ケレップ式消火栓	株△△△△
補修弁(キャップ式)	株△△△△
簡易バルブ付耐震型割T字管	◎◎◎◎株
排泥弁φ40	◇◇◇◇株

製品名	形式
仕切弁蓋(円形1号)	明石V型
消火栓蓋(円形3号)	明石IV型・丸型
排泥弁蓋	明石型

図番	1	1	協議番号	令和〇年度 第〇号
工事名	〇〇町〇〇字〇〇地内開発事業に伴う配水管布設工事			
図種	位置図・給配水管平面図・標準横断面図			
場所	明石市〇〇町〇〇字〇〇地内			
縮尺	1/5000	1/300	1/100	1/20
施工	〇〇水道設備株式会社			
設計者	製図者			

竣工図<甲> (φ75mm以上の場合)

竣 工 図

令和 年 月 日 (曜日) (/)

課 長	係 長	担当係長	係

所 長	工事長	現場監督

工 事 名 _____

工事場所 明石市 _____

施工業者 _____

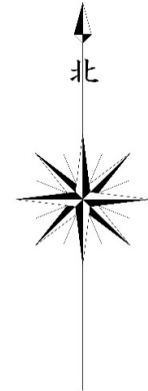
下請業者 _____

配 管 図 P : _____

住宅地図 P : _____

摘 要

位 置 図



S=1:

竣工図

令和 4 年 5 月 16 日 (月曜日) (1 / 1)

課長	係長	担当係長	係

所長	工事長	現場監督

竣工図 (乙) 表

工事名 ○○町○○字○○開発事業に伴う配水管布設工事

工事場所 明石市 ○○町○○字○○1234番地56号 他 地内

施工業者 ○○水道設備 株式会社

下請業者

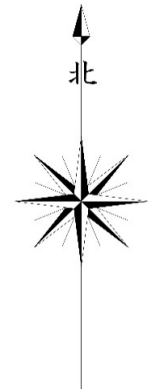
配管図 P : 89-D-1 ←水道局監督員に聞いて下さい。

住宅地図 東 P : 70-F-4 ←ゼンリン地図の頁を記入。

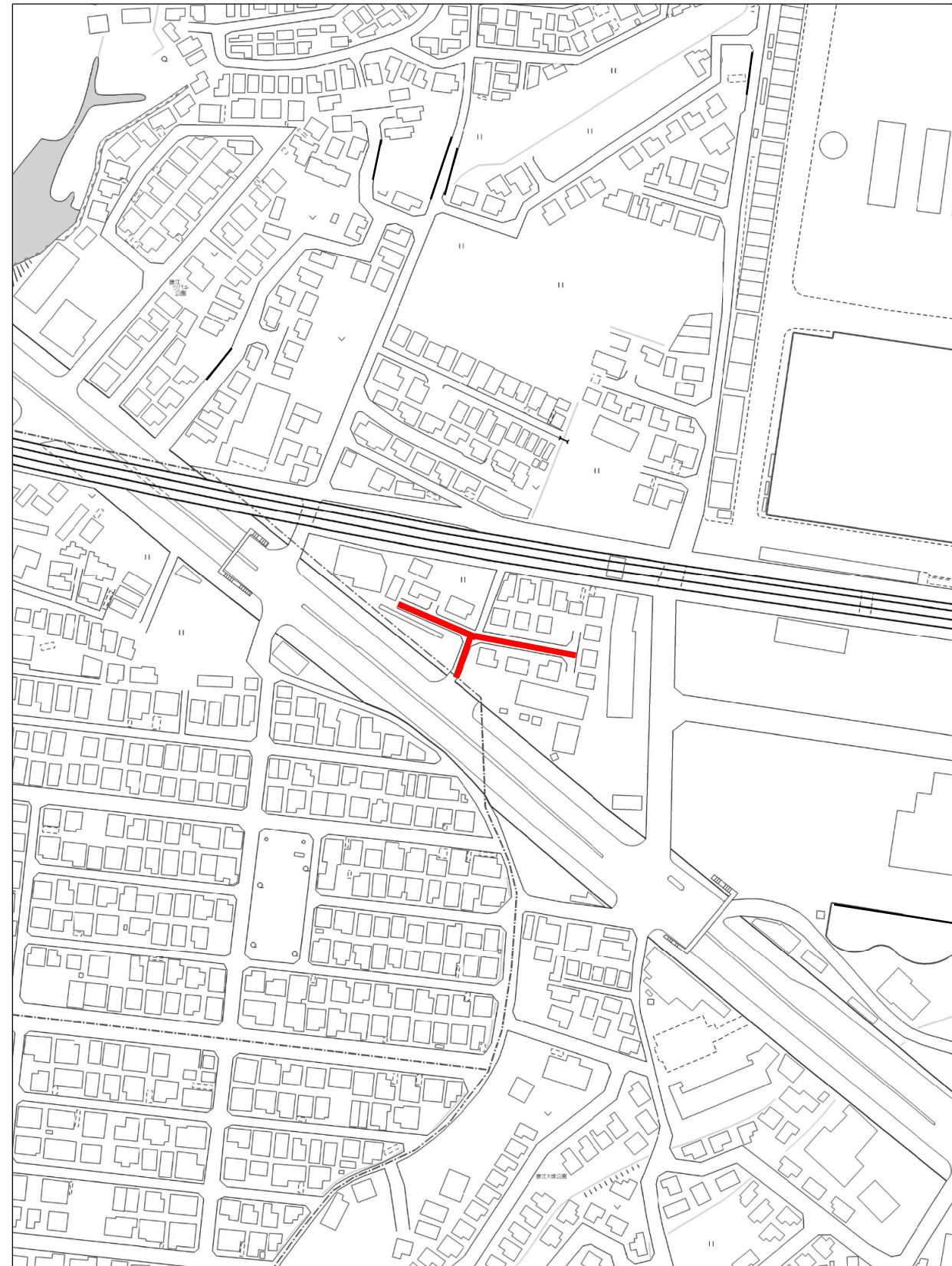
摘要

使用材料は業者より出庫
(↑すべて購入品の場合は記入)

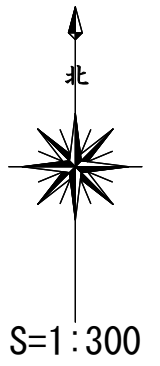
位置図



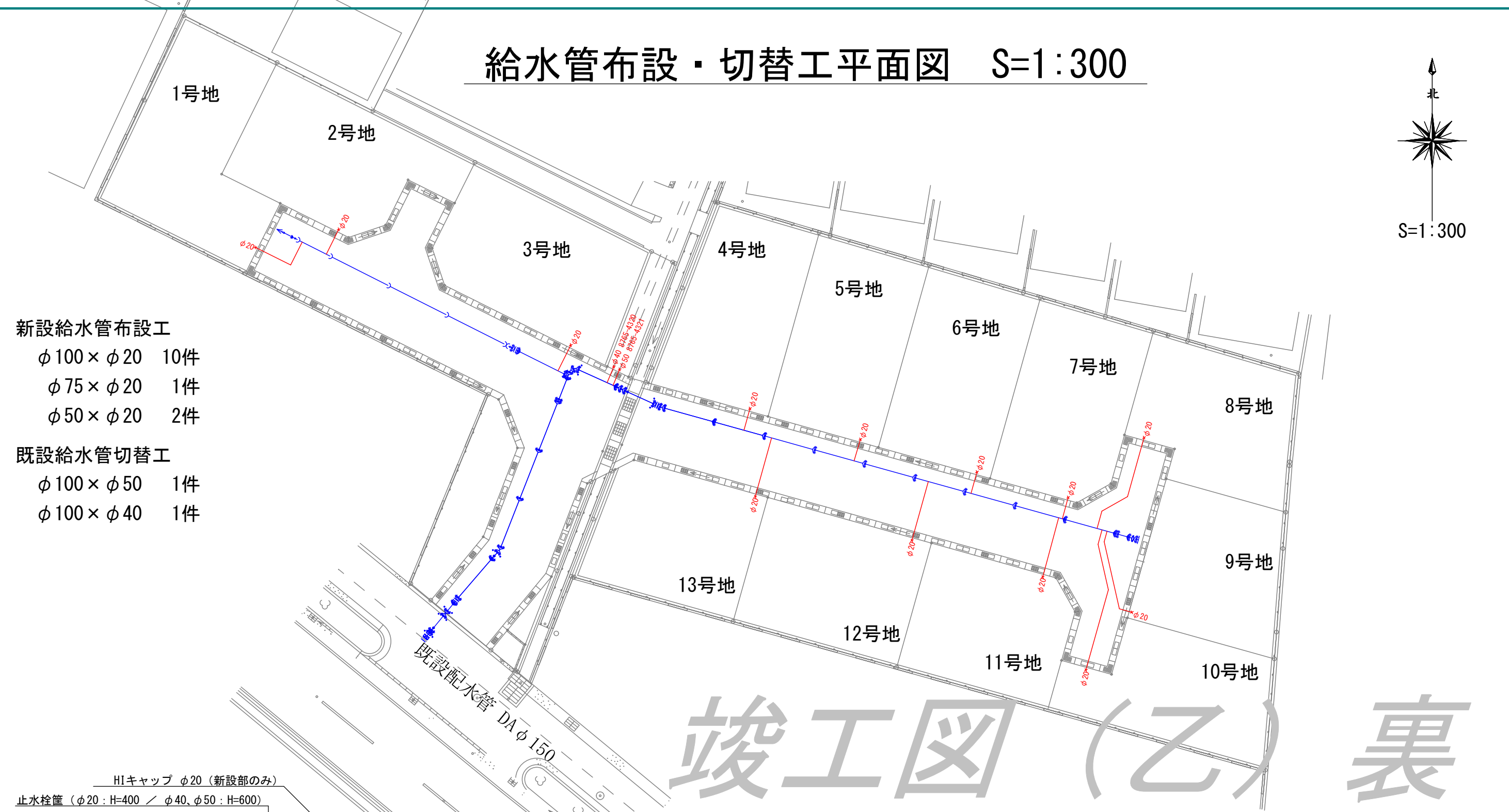
S=1:2,500



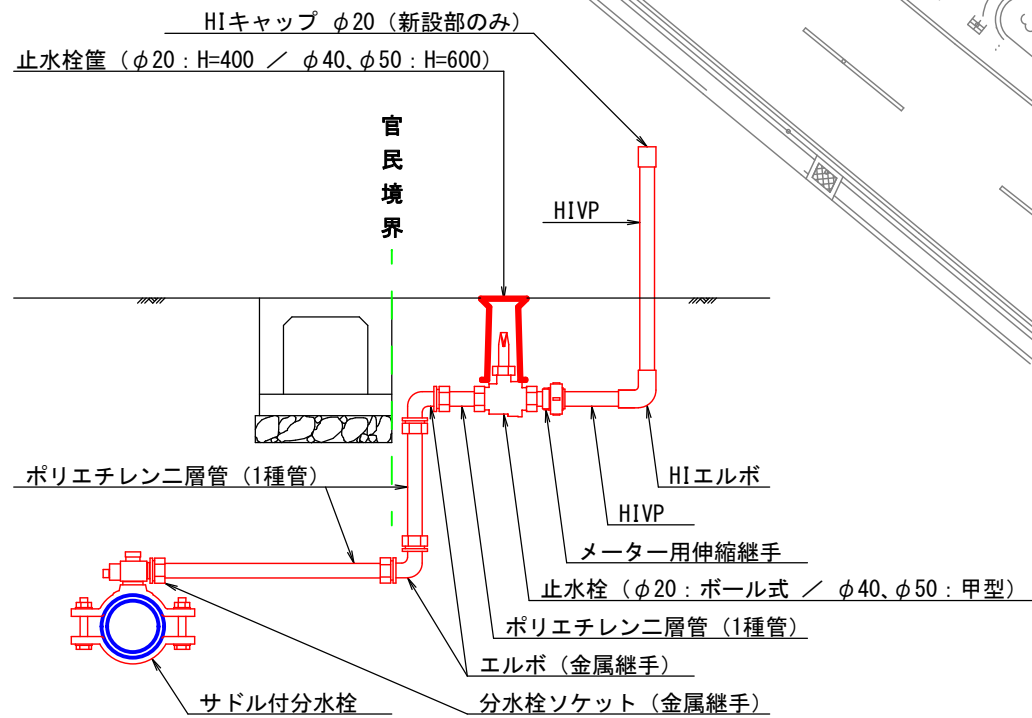
給水管布設・切替工平面図 S=1:300



- 新設給水管布設工**
- φ100×φ20 10件
 - φ75×φ20 1件
 - φ50×φ20 2件
- 既設給水管切替工**
- φ100×φ50 1件
 - φ100×φ40 1件



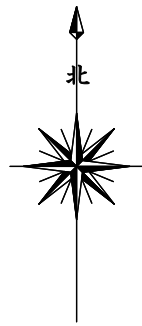
竣工図 (乙) 裏



番号	サドル分水栓	本管土被り	PPユニオン	PPエルボ	伸縮継手	止水栓	止水栓ホック	PP管	本管～止水栓距離	備考
1号地	φ50×20 H=0.8		φ20×2	φ20×3	φ20×1	φ20	400L	φ20×4.1	φ20×3.8	宅地内キャップ止
2号地	φ50×20 H=0.8		φ20×2	φ20×2	φ20×1	φ20	400L	φ20×2.1	φ20×2.4	宅地内キャップ止
3号地	φ75×20 H=0.8		φ20×2	φ20×2	φ20×1	φ20	400L	φ20×3.7	φ20×2.4	宅地内キャップ止
4号地	φ100×20 H=0.8		φ20×2	φ20×2	φ20×1	φ20	400L	φ20×2.1	φ20×1.8	宅地内キャップ止
5号地	φ100×20 H=0.8		φ20×2	φ20×2	φ20×1	φ20	400L	φ20×2.1	φ20×1.8	宅地内キャップ止
6号地	φ100×20 H=0.8		φ20×2	φ20×2	φ20×1	φ20	400L	φ20×2.1	φ20×1.8	宅地内キャップ止
7号地	φ100×20 H=0.8		φ20×2	φ20×2	φ20×1	φ20	400L	φ20×2.1	φ20×1.8	宅地内キャップ止
8号地	φ100×20 H=0.8		φ20×2	φ20×2	φ20×1	φ20	400L	φ20×8.2	φ20×7.9	宅地内キャップ止
9号地	φ100×20 H=0.8		φ20×2	φ20×3	φ20×1	φ20	400L	φ20×7.5	φ20×7.2	宅地内キャップ止
10号地	φ100×20 H=0.8		φ20×2	φ20×2	φ20×1	φ20	400L	φ20×11.1	φ20×10.8	宅地内キャップ止
11号地	φ100×20 H=0.8		φ20×2	φ20×2	φ20×1	φ20	400L	φ20×5.0	φ20×4.7	宅地内キャップ止
12号地	φ100×20 H=0.8		φ20×2	φ20×2	φ20×1	φ20	400L	φ20×5.0	φ20×4.7	宅地内キャップ止
13号地	φ100×20 H=0.8		φ20×2	φ20×2	φ20×1	φ20	400L	φ20×5.0	φ20×4.7	宅地内キャップ止
8765-4321	φ100×50 H=0.8		φ50×2	φ50×2	φ50×1	φ50	600L	φ50×1.4	φ50×1.2	既設管接続
8765-4320	φ100×40 H=0.8		φ40×2	φ40×2	φ40×1	φ40	600L	φ40×1.4	φ40×1.2	既設管接続

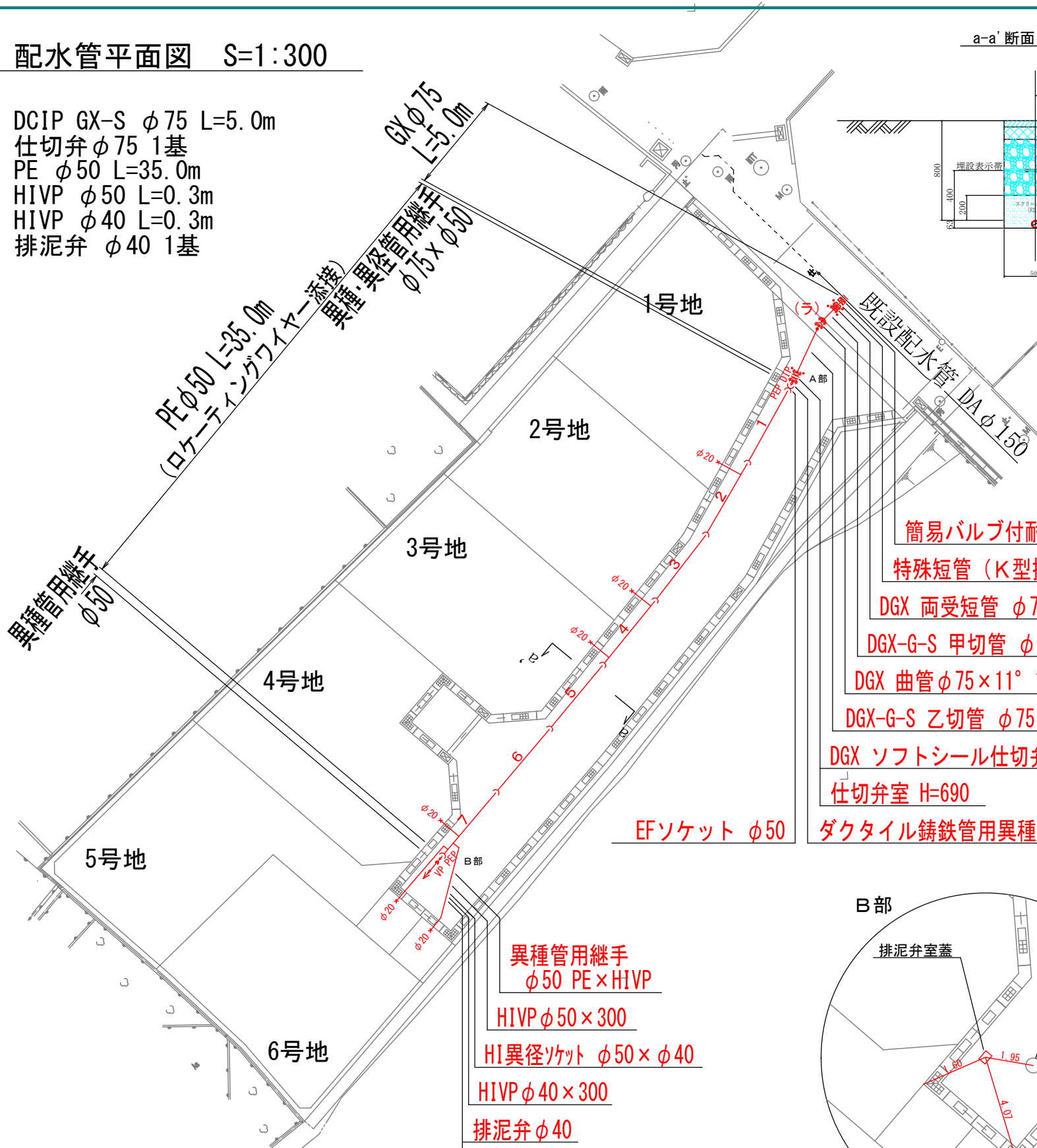
20mm～25mm程度

25mm程度

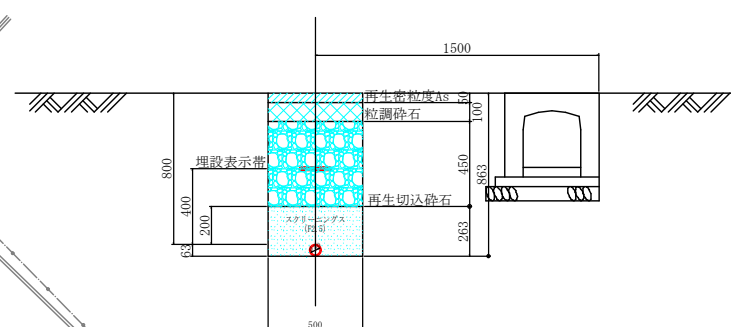


配水管平面図 S=1:300

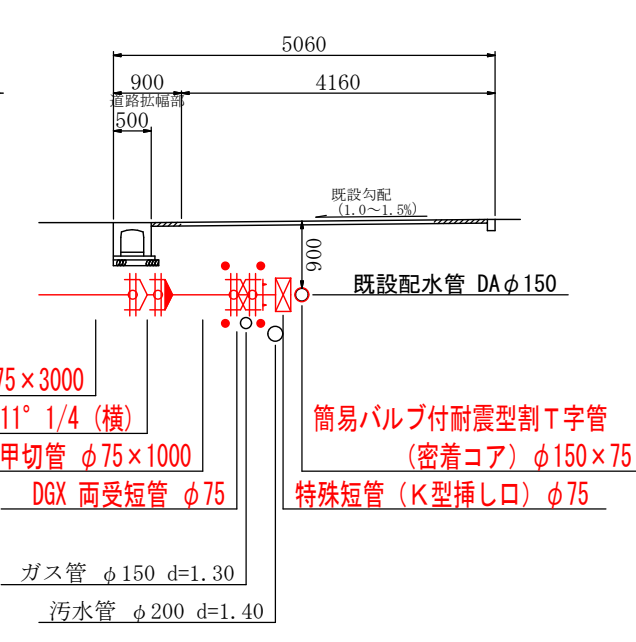
- DCIP GX-S φ75 L=5.0m
- 仕切弁 φ75 1基
- PE φ50 L=35.0m
- HIVP φ50 L=0.3m
- HIVP φ40 L=0.3m
- 排泥弁 φ40 1基



a-a'断面 S=1:40

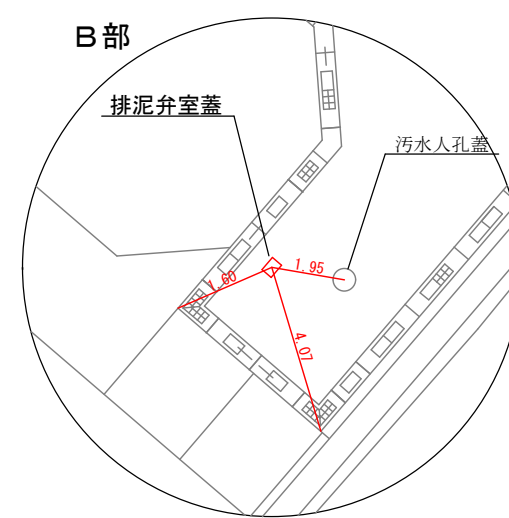
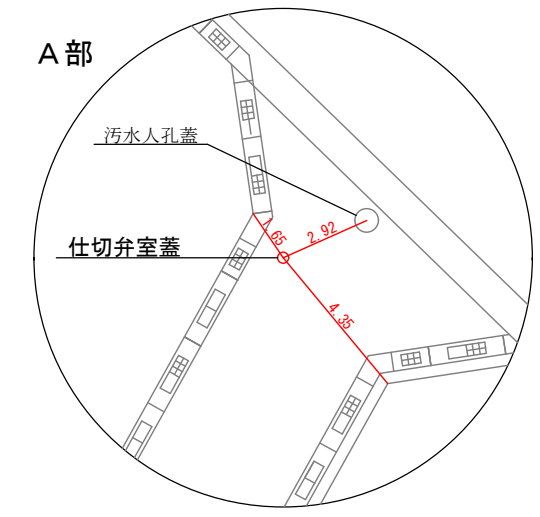


配水管取出部縦断面図 S=1/100



- DGX-G-S 乙切管 φ75×3000
- DGX 曲管 φ75×11° 1/4 (横)
- DGX-G-S 甲切管 φ75×1000
- DGX 両受短管 φ75
- ガス管 φ150 d=1.30
- 污水管 φ200 d=1.40
- 簡易バルブ付耐震型割T字管 (密着コア) φ150×75
- 特殊短管 (K型挿し口) φ75
- DGX 両受短管 φ75
- DGX-G-S 甲切管 φ75×1000
- DGX 曲管 φ75×11° 1/4 (横)
- DGX-G-S 乙切管 φ75×3000
- DGX ソフトシール仕切弁 (両受) φ75
- 仕切弁室 H=690
- EFソケット φ50
- ダクタイル鋳鉄管用異種管継手 GXφ75×PEφ50

弁栓位置図 S=1/200



- 異種管用継手 φ50 PE×HIVP
- HIVP φ50×300
- HI異径ソケット φ50×φ40
- HIVP φ40×300
- 排泥弁 φ40
- HIVP φ40 L=0.4 (縦)
- HIVPエルボ φ50×90°
- 排泥弁室 H=470

図番	1	1	協議番号	令和〇年度 第〇号
工事名	〇〇1丁目地内開発事業に伴う配水管布設工事			
図種	位置図・給配水管平面図・標準横断面図			
場所	明石市〇〇1丁目 地内			
縮尺	1/300	1/200	1/100	1/40
施工	株式会社〇〇建設工業			
設計者			製図者	

製品名	形式	製品名	製造業者名
仕切弁蓋 (円形1号)	明石V型	DGX ソフトシール仕切弁 (両受け)	〇〇〇〇〇
排泥弁蓋	明石型	簡易バルブ付耐震型割T字管	〇〇〇〇〇
		排泥弁φ40	〇〇〇〇〇

竣工図<用> (φ50mm以下の場合)

竣工図

竣工図(乙)表

令和 4 年 6 月 30 日 (木曜日) (2 / 2)

課長	係長	担当係長	係

所長	工事長	現場監督

工事名 **〇〇1丁目地内開発事業に伴う配水管布設工事**

工事場所 **明石市 〇〇1丁目23番45号 他 地内**

施工業者 **株式会社 〇〇建設工業**

下請業者

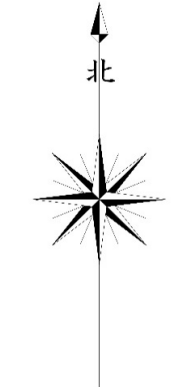
配管図 **P : 90-A-3** ←水道局監督員に聞いて下さい。

住宅地図 **東 P : 80-B-2** ←ゼンリン地図の頁を記入。

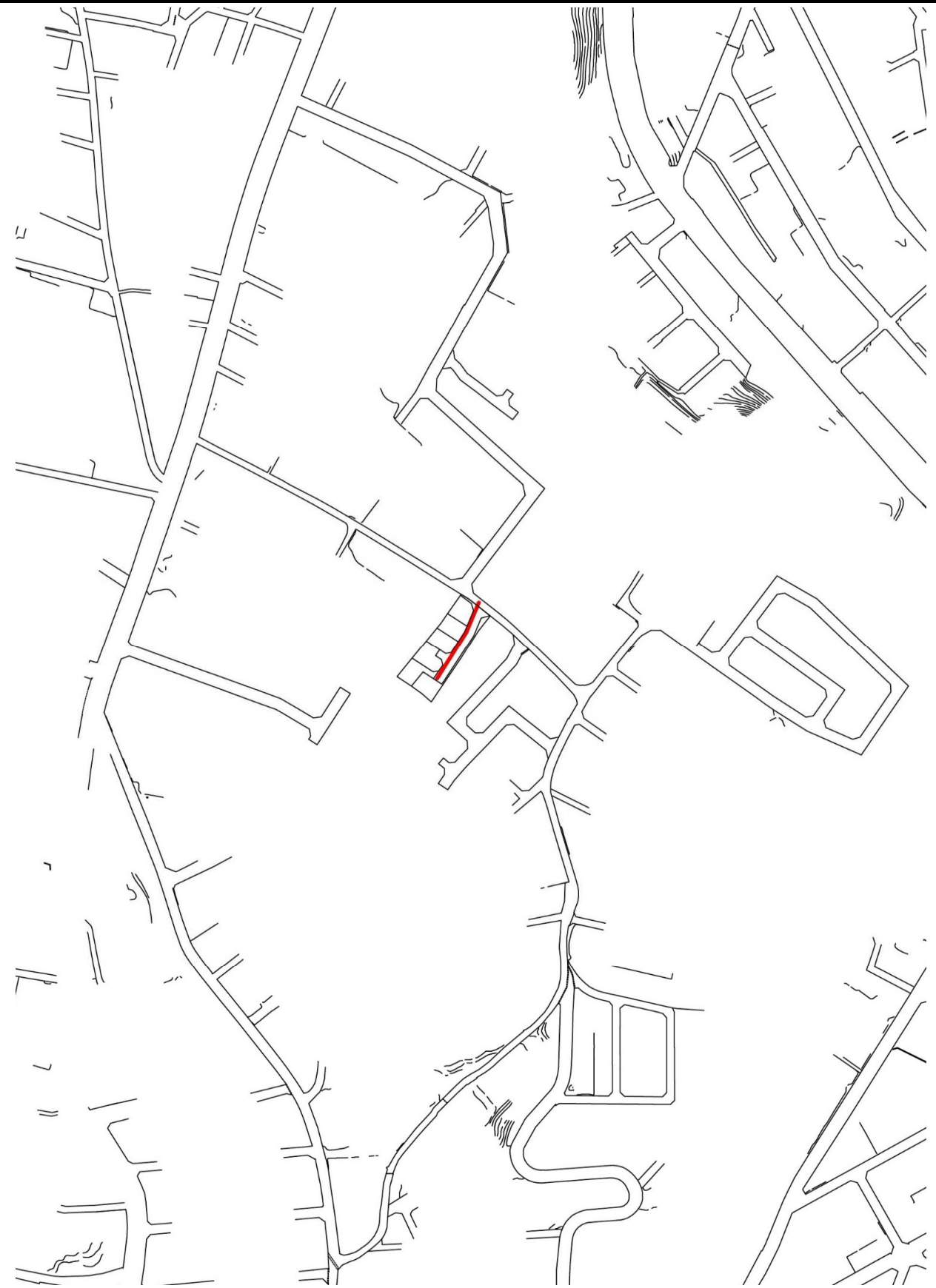
摘要

使用材料は業者より出庫
(↑すべて購入品の場合は記入)

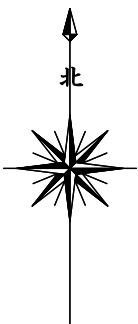
位置図



S=1:2,500

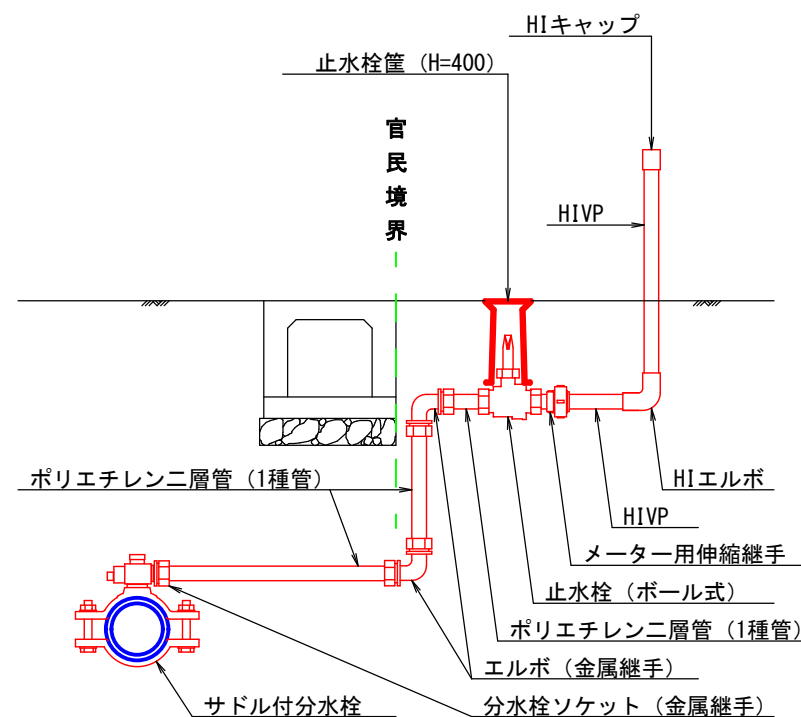
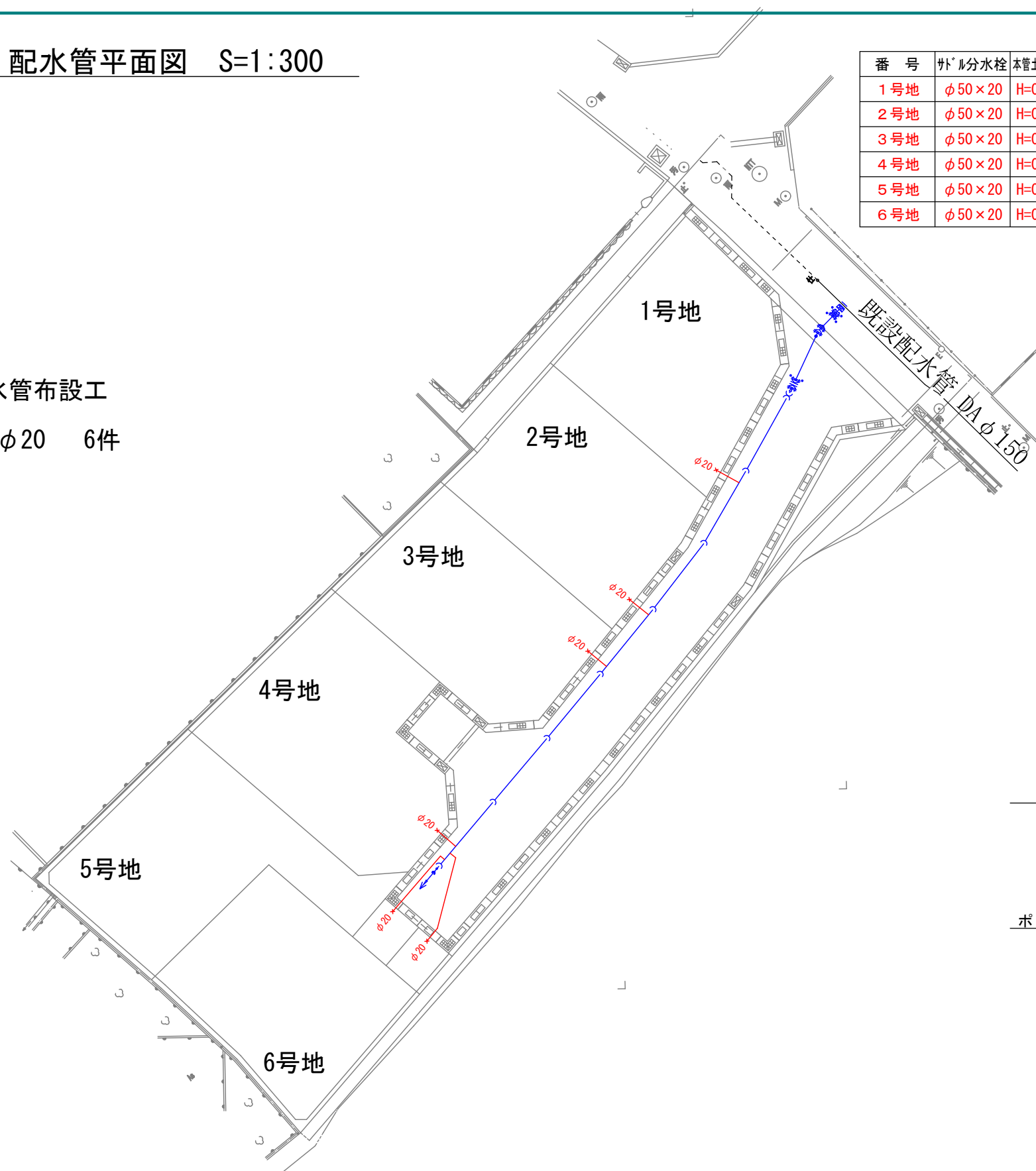


配水管平面図 S=1:300



番号	サドル分水栓	本管土被り	PPユニオン	PPエルボ	伸縮継手	止水栓	止水栓ボックス	PP管	本管~止水栓距離	備考
1号地	φ50×20	H=0.8	φ20×2	φ20×3	φ20×1	φ20	400L	φ20×2.0	φ20×1.7	宅地内キャップ止
2号地	φ50×20	H=0.8	φ20×2	φ20×2	φ20×1	φ20	400L	φ20×1.9	φ20×1.6	宅地内キャップ止
3号地	φ50×20	H=0.8	φ20×2	φ20×3	φ20×1	φ20	400L	φ20×1.9	φ20×1.6	宅地内キャップ止
4号地	φ50×20	H=0.8	φ20×2	φ20×2	φ20×1	φ20	400L	φ20×1.9	φ20×1.6	宅地内キャップ止
5号地	φ50×20	H=0.8	φ20×2	φ20×3	φ20×1	φ20	400L	φ20×3.1	φ20×2.8	宅地内キャップ止
6号地	φ50×20	H=0.8	φ20×2	φ20×3	φ20×1	φ20	400L	φ20×4.7	φ20×4.4	宅地内キャップ止

新設給水管布設工
φ50×φ20 6件



20mm~25mm程度

水圧試験 令和〇年〇月〇日
PE φ50 L=35.0m
常圧 0.33MPa 9:30
加圧 0.75MPa 9:40
加圧 0.75MPa 10:10
残塩 0.5mg/L Ph6.8
立会者 明石市水道局 ○○

竣工図<乙> (φ50mm以下の場合) (裏)

竣工図

令和 4 年 6 月 30 日 (木曜日) (1 / 2)

課長	係長	担当係長	係

所長	工事長	現場監督

竣工図 (丙) 表

工事名 ○○1丁目地内開発事業に伴う配水管布設工事

工事場所 明石市 ○○1丁目23番45号 他 地内

施工業者 株式会社 ○○建設工業

下請業者

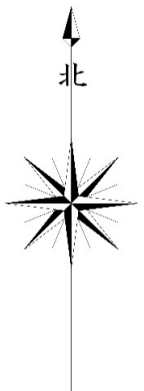
配管図 P : 90-A-3 ←水道局監督員に聞いて下さい。

住宅地図 東 P : 80-B-2 ←ゼンリン地図の頁を記入。

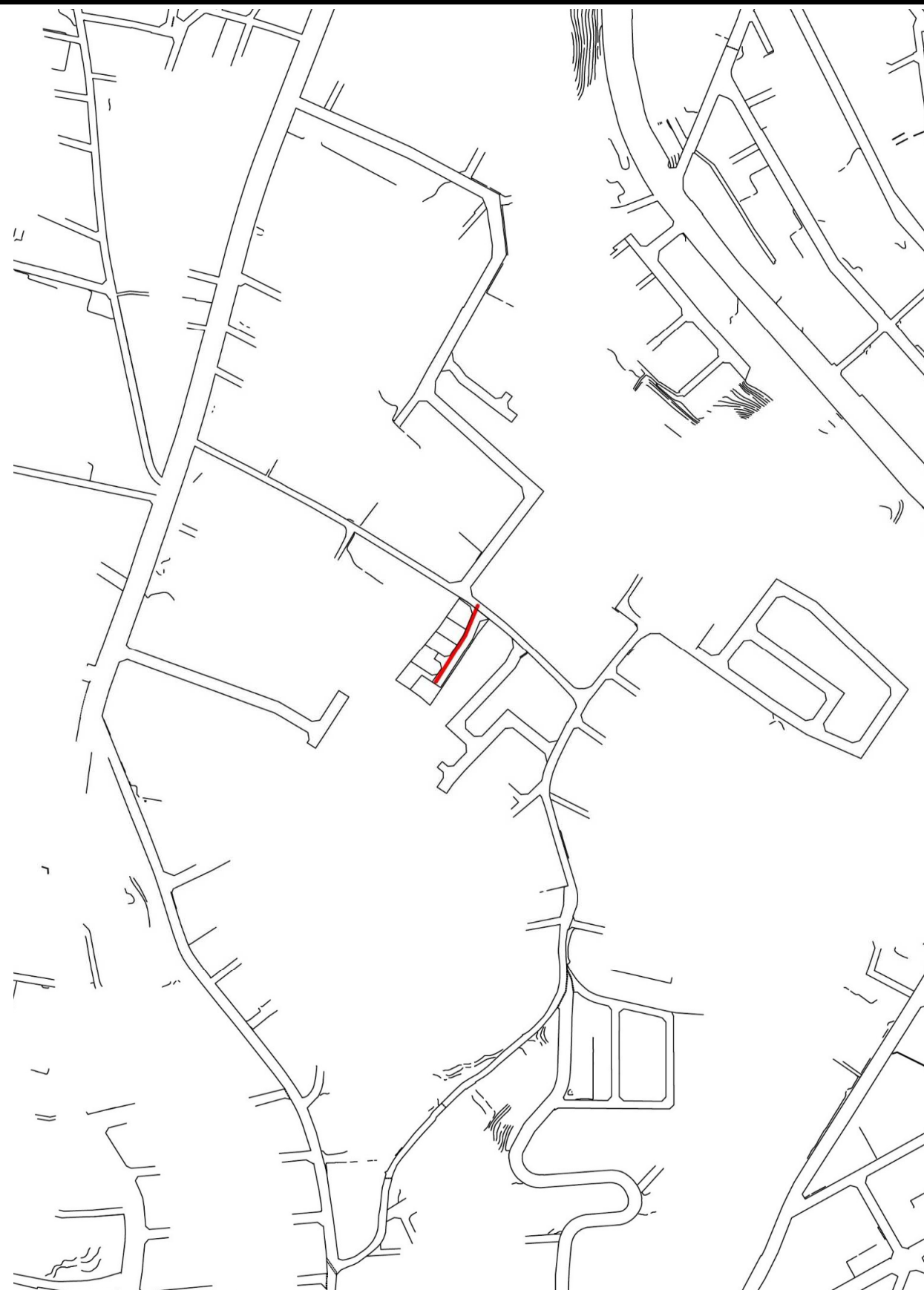
摘要

使用材料は業者より出庫
(↑すべて購入品の場合は記入)

位置図

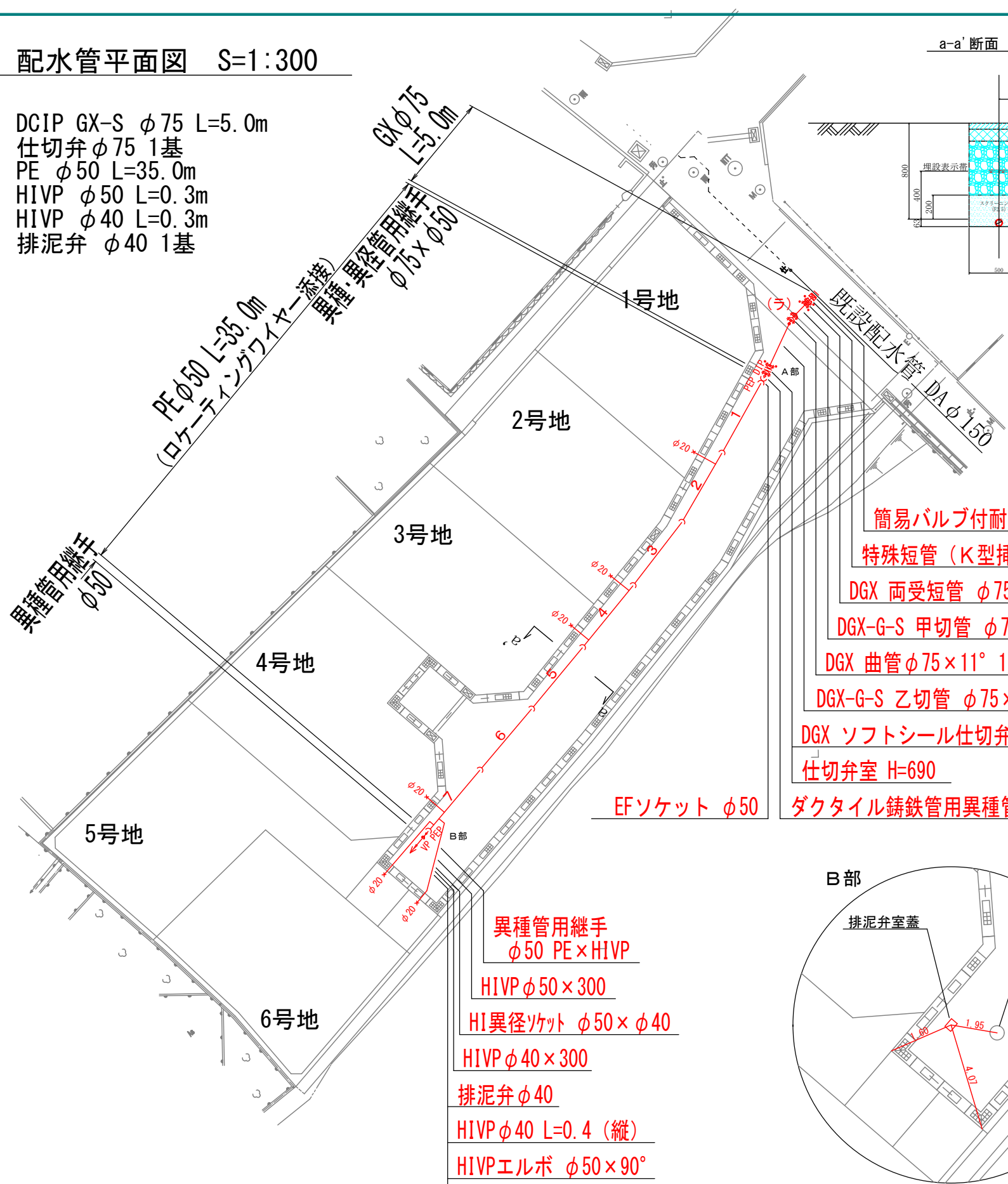
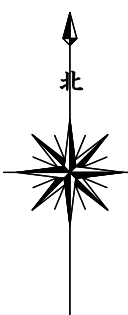


S=1:2,500

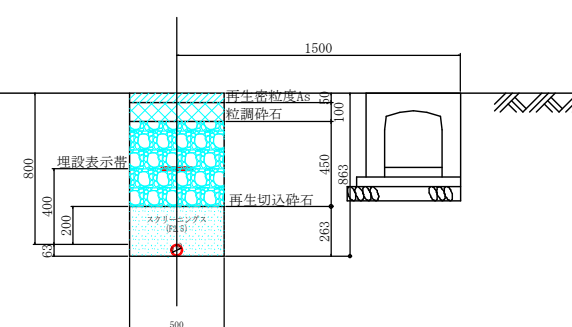


配水管平面図 S=1:300

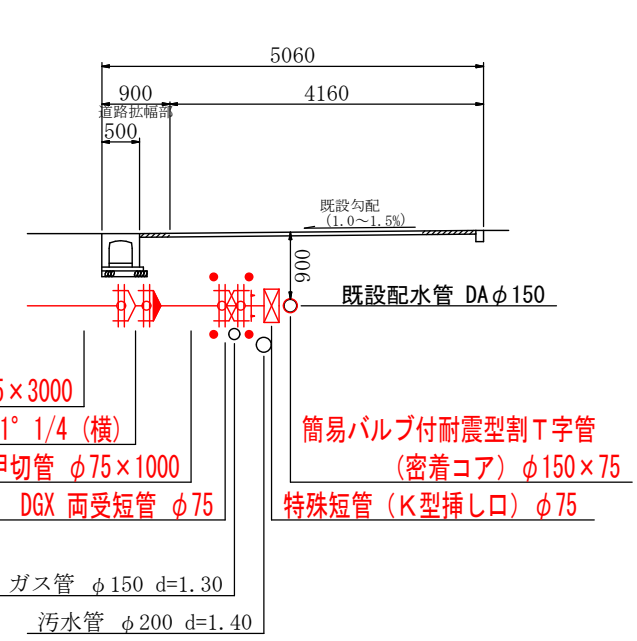
- DCIP GX-S φ75 L=5.0m
- 仕切弁 φ75 1基
- PE φ50 L=35.0m
- HIVP φ50 L=0.3m
- HIVP φ40 L=0.3m
- 排泥弁 φ40 1基



a-a'断面 S=1:40



配水管取出部縦断面図 S=1/100

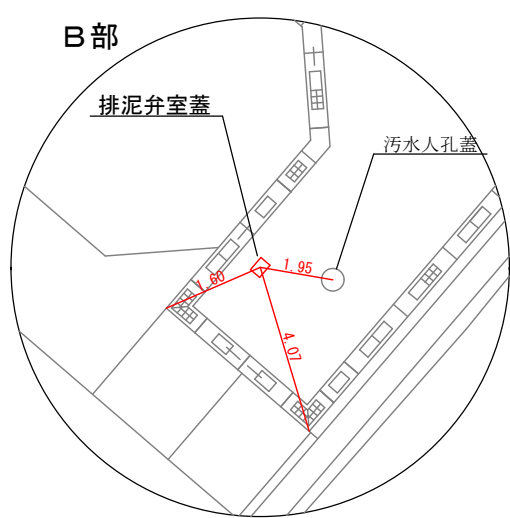
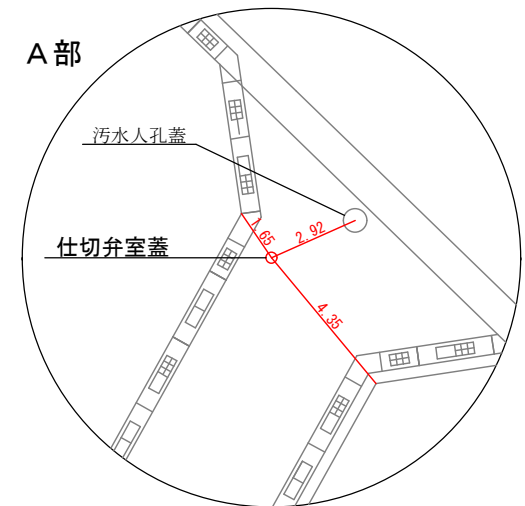


- 簡易バルブ付耐震型割T字管 (密着コア) φ150x75
- 特殊短管 (K型挿し口) φ75
- DGX 両受短管 φ75
- DGX-G-S 甲切管 φ75x1000
- DGX 曲管 φ75x11° 1/4 (横)
- DGX-G-S 乙切管 φ75x3000
- DGX ソフトシール仕切弁 (両受) φ75
- 仕切弁室 H=690
- ダクタイトル鋳鉄管用異種管継手 GXφ75xPEφ50

- 異種管用継手 φ50 PExHIVP
- HIVP φ50x300
- HI異径ソケット φ50xφ40
- HIVP φ40x300
- 排泥弁 φ40
- HIVP φ40 L=0.4 (縦)
- HIVPエルボ φ50x90°
- 排泥弁室 H=470

EFソケット φ50

弁栓位置図 S=1/200



20mm程度

25mm程度

竣工図 < 両 > (φ50mm以下の場合) (裏)

製品名	形式
仕切弁蓋 (円形1号)	明石IV型
排泥弁蓋	明石型

製品名	製造業者名
DGX ソフトシール仕切弁 (両受)	株○○○○
簡易バルブ付耐震型割T字管	◎◎◎◎株
排泥弁φ40	<><>株